

**一般社団法人山口県社会福祉士会**  
**第32回定時社員総会**

**議案資料集**



期　日　　2025年6月28日（土）  
場　所　　YMfg 維新セミナーパーク

# 一般社団法人山口県社会福祉士会 第32回定時社員総会

## 議案資料集目次・日程

### ■ 目次

#### I 議案

第1号議案	2024年度事業報告	・・・・・	P 1
第2号議案	2024年度決算報告	・・・・・	P 5 2
第3号議案	役員の選任	・・・・・	P 6 1

#### II 報告

第1号報告	ブロック役職者の報告	・・・・・	P 6 4
-------	------------	-------	-------

### ■ 日程

9:30～11:00 『定時社員総会』

11時00分～11時40分 休憩

(11時10分～11時40分 『第1回臨時理事会』

※理事以外の方は休憩時間となります

11時40分～12時00分 『新役員体制の報告会』

一般社団法人山口県社会福祉士会

第32回定時社員総会

第1号議案  
2024年度事業報告

# 2024 年度 一般社団法人 山口県社会福祉士会 事 業 報 告

2024 年度事業計画に対応させ、2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日までの本会の運営及び事業の実施状況を報告する。

## 1. 組織の状況

### 会員の加入状況

【正会員】 2024 年 4 月 1 日現在 691 名 (新入会員 45 名)

2025 年 3 月 31 日現在 704 名

【賛助会員】 2024 年度賛助会員数 2 法人、個人 3 名

## 2. 活動

### (1) 役員会等の開催報告

#### 1) 総会報告

①第 30 回定期社員総会 2024 年 6 月 29 日 山口県総合保健会館

##### ○議案事項

議案第 1 号 2023 年度事業報告

議案第 2 号 2024 年度収支決算

②第 31 回定期社員総会 2025 年 3 月 29 日 山口県総合保健会館

##### ○議案事項

議案第 1 号 第二期中期計画

議案第 2 号 2025 年度事業計画

議案第 3 号 2025 年度収支予算

#### 2) 業務執行理事会報告

①第 1 回業務執行理事会 2024 年 4 月 8 日 オンライン会議

##### ○協議事項

ブロック長会議に向けた協議

②第 2 回業務執行理事会 2024 年 5 月 7 日 オンライン会議

##### ○協議事項

第 1 号協議事項 第 1 回通常理事会の審議・協議・報告事項について

③第 3 回業務執行理事会 2024 年 8 月 19 日 オンライン会議

##### ○協議事項

第 1 号協議事項 第 2 回通常理事会の審議・協議・報告事項について

④第 4 回業務執行理事会 2024 年 11 月 12 日 オンライン会議

##### ○協議事項

第 2 回総合企画部会に参画し、来年度の事業内容の検討

⑤第 5 回業務執行理事会 2024 年 12 月 9 日 オンライン会議

##### ○協議事項

第 1 号協議事項 第 3 回通常理事会の審議・協議・報告事項について

⑥第6回業務執行理事会 2025年1月27日 オンライン会議

○協議事項

第1号協議事項 第4回通常理事会の審議・協議・報告事項

3) 理事会報告

①第1回通常理事会 2024年5月11日 オンライン会議

○議案事項

第1号議案 2023年度事業報告

第2号議案 2023年度決算報告

第3号議案 第30回定時社員総会の議案事項

○報告連絡事項

第1号報告連絡 新規正会員・賛助会員・都道府県士会変更による  
入会及び退会申出による退会の報告

第2号報告連絡 会員数状況及び変動の報告

②第2回通常理事会 2024年8月24日 オンライン会議

○議案事項

第1号議案 諸規程類の廃止

○協議事項

第1号議案 第二期中期計画

○報告連絡事項

第1号報告連絡 事業遂行状況の報告

第2号報告連絡 新規正会員・賛助会員・都道府県士会変更による入会  
及び退会申出による退会の報告、会員資格喪失者の報告

第3号報告連絡 市町の認定審査会や協議会等委員の推薦者の報告

第4号報告連絡 後援承諾の報告

第5号報告連絡 各種研修受講推薦者の報告

第6号報告連絡 関係団体等の会議・協議会等への参画の報告

第7号報告連絡 関係団体等からの講師派遣依頼の報告

③第3回通常理事会 2024年12月14日 山口県教育会館

○議案事項

第1号議案 第31回定時社員総会の日時及び場所並びに議案事項

第2号議案 山口市・美祢市ブロック活動における内規制定案

第3号議案 委託事業の受託可否について

○協議事項

第1号議案 第二期中期計画

○報告連絡事項

第1号報告連絡 事業遂行状況の報告

第2号報告連絡 新規正会員・賛助会員・都道府県士会変更による入会  
及び退会申出による退会の報告、会員資格喪失者の報告

第3号報告連絡 市町の認定審査会や協議会等委員の推薦者の報告

- 第4号報告連絡 後援承諾の報告  
第5号報告連絡 各種研修受講推薦者の報告  
第6号報告連絡 関係団体等の会議・協議会等への参画の報告  
第7号報告連絡 関係団体等からの講師派遣依頼の報告
- ④第4回通常理事会 2025年2月1日 オンライン会議
- 議案事項
- 第1号議案 2025年度事業計画  
第2号議案 2025年度収支予算
- 報告連絡事項
- 第1号報告連絡 事業遂行状況の報告  
第2号報告連絡 新規正会員・賛助会員・都道府県士会変更による入会  
及び退会申出による退会の報告、会員資格喪失者の報告  
第3号報告連絡 市町の認定審査会や協議会等委員の推薦者の報告  
第4号報告連絡 後援承諾の報告  
第5号報告連絡 各種研修受講推薦者の報告  
第6号報告連絡 関係団体等の会議・協議会等への参画の報告  
第7号報告連絡 関係団体等からの講師派遣依頼の報告

#### 4) 2023年度監査報告

- 監査内容 2024年度事業報告・決算報告  
○開催日 2025年5月7日  
○開催方法 電磁的方法  
○監査人 大神尚子、佐々木啓太

#### 5) ブロック長会議報告

- 開催日 2024年4月13日  
○開催場所 オンライン会議  
○内容 非会員の参加費徴収について、ブロック活動事業報告及び収支決算について、ブロック活動の流れについて、総会の議決権行使の結果について、総合企画部&ブロック長会議

#### 6) ブロック長&総合企画部担当理事合同会議報告

- 開催日 2024年11月16日  
○形 式 オンライン会議  
○内 容 第二期中期計画に向けたブロック事業について、事業計画と予算の提出について

## (2) 委託事業部

事業方針にもとづき、委託事業部は次の事業を行った。

### ■委員会名：障害者権利擁護センター委員会

- 担当理事：服部恭弥
- 委員長：磯地美香
- 副委員長：石津育幸
- 委員：岡本英樹、伊藤孝司、平岡龍一郎、原田和夫、荒川奈津枝、石川智子、森尾憲嗣、橘康彦、末田真由美

#### 【委員会設置目的】

社会福祉の援助を必要とする山口県民の生活と権利を擁護するため、障害者虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応、虐待発生後に適切な支援を行うため、関係機関等の協力体制の整備や支援体制の強化を図る権利擁護等に関する事業を行う。

#### 【基本方針】

- 障害者虐待防止法の周知啓発を図る。
- 障害者虐待防止について、研修会、派遣活動等を通じて適切な支援を行う。

#### 【重点目標】

障害者虐待防止法の一層の周知啓発を図るとともに、障害者虐待の未然防止に向けた取り組みを図る。

事業計画	事業報告
<p>1 県より、障害者権利擁護センター運営事業を受託（予定）し、次の事業を展開する。</p> <p>（1）山口県障害者権利擁護センター相談窓口の設置</p> <p>（2）支援専門職チームの派遣</p> <p>障害者虐待を受けた障害者及び養護者に対する支援のための情報提供、助言、関係機関との連絡調整その他援助</p> <p>（3）虐待事例の分析・市町の事例検討会への専門的助言</p> <p>（4）障害者虐待防止・権利擁護研修の開催</p> <p>（5）関係機関等に対する普及啓発及び研修</p> <p>（6）障害者差別解消法の相談窓口の設置</p>	<p>1 県より、障害者権利擁護センター運営事業を受託し、次の事業を展開する。</p> <p>（1）山口県障害者権利擁護センターの設置</p> <p>本会事務局内に、センターを設置し、平日の 9 時から 17 時まで、社会福祉士が電話対応。</p> <p>（2）支援専門職チームの派遣</p> <p>市町虐待防止センターへ支援専門職チームの派遣</p> <p>【派遣実績】5 件</p> <p>（3）事例分析検討会議の開催</p> <p>1) 第 1 回</p> <p>【開催日】6/27 【場所】山口県社会福祉会館 【参加者】社会福祉士 9 名、弁護士 5 名</p> <p>2) 第 2 回</p> <p>【開催日】11/15 【場所】山口県教育会館 【参加者】社会福祉士 9 名、弁護士 7 名</p> <p>（4）障害者虐待防止・権利擁護研修の開催</p> <p>1) 令和 6 年度障害者虐待防止・権利擁護研修</p> <p>（市町虐待防止センター職員対象）</p> <p>① 1 回目</p> <p>【開催日】5/29 【形式】オンデマンド講義、集合研修 5/29 【参加数】17 名 【内容】▼オンデマンド講義：①「障害者虐待防止総論-成立までの経過、</p>

	<p>社会的意義」②「障害者虐待防止法の概要」③「性的虐待の防止と対応」④「身体拘束の廃止に向けて」⑤「通報の意義と通報後の対応～通報はすべての人を救う～」⑥「養護者による障害者虐待の防止と対応①②」⑦「障害者福祉施設従事者等による障害者虐待の防止と対応」⑧「使用者による障害者虐待の防止と対応」⑨「事実確認調査における情報収集と面接手法」▼集合研修：①「障害者虐待対応状況の結果」花屋沙也加（山口県障害者支援課）②「養護者による障害者虐待防止の通報受理から養護者支援の検討にかけての演習」「施設従事者による障害者虐待防止の通報受理から事業所指導の検討にかけての演習」齊郷壮哲（柳井市社会福祉課）③山口県障害者権利擁護センターについて（障害者権利擁護センター委員会/委員）</p> <p>② 2回目</p> <p>【開催日】11/27 【形式】オンデマンド講義、集合研修 11/27 【参加数】8名 【内容】同上</p> <p>2) 令和6年度障害者虐待防止・権利擁護研修</p> <p>【対象者】①管理者/虐待防止担当者②福祉施設従事者③医療関係、学校、幼稚園、保育園、放課後児童クラブ、労働局関係者【開催日】12/3、12/4、12/12、12/17、12/20【形式】オンデマンド講義、①のみ集合研修【参加数】①204名②155名③51名【内容】▼オンデマンド講義：①「障害者虐待防止総論-成立までの経過、社会的意義」②「障害者虐待防止法の概要」③「性的虐待の防止と対応」④「身体拘束の廃止に向けて」⑤「通報の意義と通報後の対応～通報はすべての人を救う～」⑥法人・事業所の理念と管理者の役割⑦虐待を防止するための日常の取組について⑧虐待を防止するための日常の取組について⑨虐待が疑われる事案への対応⑩障害者虐待防止委員会、身体的拘束等の適正化委員会と虐待防止責任者の役割⑪虐待防止委員会の実際の運営について⑫当事者の声▼集合研修：①虐待が疑われる事案への対応②虐待防止委員会の活性化③身体拘束適正化委員会の運営 岩武毅（社会福祉法人蓬莱会）西村友宏（社会福祉法人蓬莱会ゆうあい）</p>
2 日本社会福祉士会との連携・協力	実績なし

<p>3 関係機関・団体との連携協力</p> <p>関係機関・団体の協議会等に会員の推薦・派遣を行う。</p>	<p><b>1 関係機関・団体の協議会等に会員を推薦した。</b></p> <p>周南市障害者虐待対応協力者連絡会議（磯地美香）、下関市自立支援協議会（荒川奈津枝）、山口市障がい者差別解消支援協議会・山口市障がい者虐待防止ネットワーク推進会議（森尾憲嗣）山口県障害者介護給付費等不服審査会委員（磯地美香）</p> <p><b>2 関係機関・団体から研修などへの講師を紹介した。</b></p> <p>周南市障害支援課（障害者虐待対応連絡会議にて障害者虐待防止に関する制度概要、各機関の役割、連携の在り方について、会員：磯地美香）、周南市障害支援課（内容：障害者差別解消法に係る市職員研修、会員：末田真由美）</p> <p><b>3 関係機関・団体の委員等に会員を推薦した。</b></p> <p>社会福祉法人城南学園第三者調査委員会（磯地美香）</p>
<p>4 委員会の開催</p> <p>上記の事業の遂行にあたり年 6 回 委員会を定期開催するとともに、必要に応じて随時開催する。</p>	<p><b>1 委員会を開催した。</b></p> <p>(1) 1回目 【内容】令和 6 年度山口県障害者虐待防止研修について等【開催日】4/17【場所】オンライン【参加者数】7名</p> <p>(2) 2回目 【内容】第 2 回事例分析検討会議について等【開催日】6/27【場所】山口県社会福祉会館【参加者】9名</p> <p>(3) 3回目 【内容】進捗状況の共有、事例分析検討会議について【開催日】8/21【場所】オンライン【参加者】9名</p> <p>(4) 4回目 【内容】令和 6 年度山口県障害者虐待防研修について【開催日】10/16【場所】オンライン【参加者】7名</p> <p>(5) 5回目 【内容】令和 7 年度山口県障害者虐待防止研修・事例分析検討会議について【開催日】3/19【場所】オンライン【参加者】7名</p>

## ■総括

令和 6 年度山口県障害者虐待防止・権利擁護研修については、オンデマンド講義・集合研修形式で実施し、全日程終了した。事例分析検討会議では、派遣対応した虐待事例について権利擁護支援専門チームの弁護士と共に分析・検討を 2 回行った。新たな取り組みとして、権利擁護支援専門チームが派遣される前後に検討会を試験的に実施し、虐待事例分析検討会議の在り方について検討した。

## ■委員会名：高齢者権利擁護推進委員会

○担当理事：上野綾乃

○委員長：内藤誠

○委員：川口里美、宮下紀子、安光正之、山本まゆみ、木原伸

### 【委員会設置目的】

権利擁護業務等について社会福祉士としての専門性を発揮することができるよう、また、社会福祉士間のネットワークづくりや個々のスキルアップを図ることを目的として研修等を開催し、地域包括支援センターに従事する社会福祉士を支援する。

### 【基本方針】

- 地域包括支援センターにおいて対応に苦慮することが多い「高齢者虐待対応」についての研修会や情報交換をおこなう機会をつくることで、県内における各包括支援センターの「質の標準化」を図り、権利擁護等についての社会福祉士の専門性向上を支援する。
- 研修会を通じ、各圏域の地域包括支援センターが抱える課題について、圏域に所属する地域包括支援センター虐待対応者同士が身近な相談者となり、課題解決ができるようネットワーク形成を図る。

### 【重点目標】

県内における各包括支援センターの「質の標準化」を図り、権利擁護等についての社会福祉士の専門性向上を支援する。

事業計画	事業報告
<p>1 県より、高齢者権利擁護推進事業、地域包括ケア専門職派遣システム構築事業、住宅改修等点検に係る専門職派遣事業を受託（予定）して、次の事業を展開する。</p> <p>（1）高齢者権利擁護推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 相談調整窓口の設置</li><li>② 権利擁護支援専門職チームの派遣、及び派遣効果や課題の検証</li><li>③ 高齢者虐待対応等の権利擁護に関する事例検討会及び業務についての悩みやストレスの解消につながる研修会や情報交換会の開催</li></ul> <p>（2）地域包括ケア専門職派遣システム構築事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 相談調整窓口の設置</li><li>② 地域包括支援センター等への専門職や学識経験者派遣</li></ul>	<p><b>1 高齢者権利擁護推進事業</b></p> <p>山口県から高齢者権利擁護推進事業を受託し、次の事業を実施した。</p> <p>（1）専門的な業務相談</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・相談受付及び相談窓口の設置</li><li>・権利擁護支援専門チームの派遣</li></ul> <p>（派遺実績：回数7回、相談件数7件）</p> <p>（2）高齢者虐待対応関係者研修会の開催</p> <p>【内容】高齢者虐待防止法に基づく通報受理、その対応における専門的視点及び技術の習得し、事例検討を行い、実践力の向上を図る。また、各市町の高齢者虐待対応関係者と情報交換し、ネットワーク形成の構築を図る。</p> <p>【開催日】11/8（金）【場所】山口県総合保健会館【講師】通山和史弁護士・安光洋平理事【参加数】39名</p> <p><b>2 地域包括ケア専門職派遣システム構築事業</b></p> <p>山口県から地域包括ケア専門職派遣システム構築事業を受託し、専門職派遣のための人材バンクの構築、相談及び専門職派遣調整窓口の設置、地域包括支援センター等からの要請に基づく専門職の派遣。（専門職の派遣実績：9回）</p>

<p>(3) 住宅改修等点検に係る専門職派遣事業</p> <p>① 相談調整窓口の設置</p> <p>② 市町への専門職派遣</p>	<p><b>3 住宅改修等点検に係る専門職派遣事業</b></p> <p>山口県から住宅改修等点検に係る専門職派遣事業を受託し、専門職派遣のための相談及び専門職派遣調整窓口の設置、地域包括支援センター等からの要請に基づく理学療法士や作業療法士の派遣。(専門職の派遣実績：1回)</p>
<p>2 日本社会福祉士会との連携・協力</p>	<p><b>1 アンケート調査などへの協力</b></p> <p>2023年度の標準研修及び専門職チームに関する実績報告</p>
<p>3 関係機関・団体との連携協力</p> <p>関係機関・団体の協議会等に会員の推薦・派遣を行う。</p>	<p><b>1 関係機関・団体の協議会等に会員の推薦・派遣を行なった。</b></p> <p>下松市権利擁護ネットワーク協議会（室本好重）、防府市高齢者虐待防止ネットワーク会議（瀧口コヅエ）、令和6年度高齢者虐待における個別ケース会議（山本孝博）</p>
<p>4 委員会を年3回開催</p> <p>上記の事業の遂行にあたり年3回委員会を定期開催するとともに、必要に応じて随時開催する。</p>	<p><b>1 委員会を開催した。</b></p> <p>(1) 1回目 【開催日】4/16 【形式】オンライン 【内容】今年度の事業実施計画について 【参加人数】7名</p> <p>(2) 2回目 【開催日】6/11 【形式】オンライン 【内容】研修の打ち合わせ 【参加数】4名</p> <p>(3) 3回目 【開催日】8/6 【形式】オンライン 【内容】研修の打ち合わせ 【参加数】7名</p> <p>(4) 4回目 【開催日】10/17 【形式】オンライン 【内容】研修の打ち合わせ 【参加数】9名</p> <p>(5) 5回目 【開催日】1/15 【形式】オンライン 【内容】アンケートを踏まえた研修振り返り、「市民後見人養成研修」オンラインデマンド研修用動画作成について 【参加数】7名</p>
<p><b>■総括</b></p> <p>「高齢者虐待対応関係者研修会は県委託事業」である「高齢者権利擁護推進事業」の中核を成すものであり、今後も内容の充実を図りながら継続する。一方で講師の選定や事例作成に苦慮しており、委員会に協力できる人材の確保と委員の負担軽減を図る必要がある。</p>	

## ■委員会名：子ども権利擁護推進委員会

○担当理事：杉山美羽

○委員長：梅木幹司

○副委員長：讚井康一、橋本達哉

○委員：森永真里子、橋本嘉美

### 【委員会設置目的】

子どもの権利擁護のための相談体制事業を受託（予定）し、子どもの権利擁護体制を充実させるため、県が設置する社会福祉審議会等を活用し、県の実情に合わせた、児童養護施設等に入所する児童の意見表明を受けてめる体制づくりを検討・実践する。

事業計画	事業報告
<p>1 県より、子どもの権利擁護のための相談体制事業を受託（予定）して、次の事業を展開する。</p> <p>（1）意見表明支援員の配置及び管理</p> <p>（2）訪問型アドボカシーサービスの仕組みづくり</p> <p>（3）意見表明支援員の養成研修</p> <p>（4）アドボカシーの周知・啓発</p> <p>（5）訪問型アドボカシー相談</p> <p>（6）子どもの権利擁護体制充実に向けての今後の方策の提案</p>	<p><b>1 子どもが施設等への意見表明等について相談できる窓口の設置</b></p> <p>（1）相談窓口の設置 主に社会的養護下にある子どもが意見表明支援員との面談を希望した際の窓口（電話、はがき等）の設置に向けて協議中。電話相談窓口は 10/16 から開設した。子ども向けの意見表明支援員についてのパンフレットを作成し配布した。</p> <p>（2）意見表明等支援員の派遣・関係機関への連絡 児童養護施設や一時保護所への子どもアドボケイトの定期訪問を実施しており、定期訪問以外にも個別面談など実施した。</p> <p><b>2 意見表明等支援員の養成</b></p> <p>（1）意見表明等支援員の養成</p> <p>①子どもアドボカシー基礎講座 【委託】子どもアドボカシー学会に委託 【修了者数】30名</p> <p>②子どもアドボカシー実践講座</p> <p>►1日目【開催日】10/5【内容】①山口県の子どもの権利擁護に関する動向と今後について（講師）本幡一貴（山口県こども家庭課児童環境班）②社会的養護を必要とする当事者の声（講師）児童養護施設等出身者③社会的養護施設の子どもの思いとどう向き合うか～児童養護施設に着目して～（講師）岩城淳氏（社会福祉法人防府海北園／統括施設長）④アドボケイトの実際（演習①・出会いの場面、傾聴）（講師）福田みのり（山陽小野田市立東京理科大学）►2日目【開催日】10/6【内容】①アドボカシー葛藤とジレンマ（境界・利用者・多職種との関係性）②どもをエンパワメントするためには（講師）全講座 福田みのり③傾聴・自己覚知・記録の書き方（講師）梅木幹司（至誠館大学 現代社会学部/学部長）④子どもアドボケイト登録について</p> <p>（2）意見表明等支援員の登録・管理・フォローアップ等</p> <p>①意見表明等支援員の登録・管理</p>

	<p>意見表明支援登録要件を整備するとともに、実践講座修了予定者へのアドボケイト募集を周知した。</p> <p>②フォローアップ</p> <p>1) 定例会議の開催</p> <p>月1回（アドボケイト定例会議：第1水曜日 19時から20時、一時保護所アドボケイト定例会議：同日 20時から20時30分 共にオンライン方式）、を開催し、日々の活動の振り返り、情報共るとともに、スーパーバイザーからの助言・指導を受けた。</p> <p>2) フォローアップ研修</p> <p>登録しているアドボケイトに、子どもアドボカシー実践講座の受講を推奨した。</p> <p>3 こどもの意見表明等の支援</p> <p>(1) 意見表明等支援</p> <p>児童養護施設や一時保護所への子どもアドボケイトの定期訪問、電話相談窓口での対応を実施した。</p> <p>(2) 児童相談所や施設等への意見表明等</p> <p>こどもが児童相談所への意見表明等を希望した場合、検討委員会議にスーパーバイザーを加え、対応について検討している。意見表明等の際は、児童相談所と日時・場所・方法等について調整を図った。</p> <p>(3) 意見表明等の実施後の確認</p> <p>こどもの意見表明等の結果を受けた後に、必要に応じてこどもその状況について確認し、再度の意見表明等支援を行った。</p> <p>4 こどもの権利擁護に関する研修</p> <p>児童相談所や施設に対し、こども権利擁護に関する周知・啓発を目的とした説明を実施した。</p> <p>また本事業の導入に向けて、県内の児童養護施設へ訪問し説明会及び具体的な調整（訪問開始時期、職員・子どもへの説明について・訪問頻度など）、既に実施している施設での振り返り協議会を実施した。</p>
2 日本社会福祉士会との連携・協力	<p>1 アンケート調査に協力</p> <p>意見表明等支援事業に関する調査、山口県社会福祉士会への追加調査（意見表明等支援事業）</p> <p>2 意見表明等支援事業に関する情報交換会＜都道府県士会担当者向け＞に出席</p> <p>【日時】1/6 【形式】オンライン 【内容】各取り組み県士会からの報告、報告を受けての意見交換、質疑応答 【出席者】吉村真</p>
3 関係機関・団体との連携	1 県事務局との連絡協議会

<p><b>協力</b> 関係機関・団体の協議会等に会員の推薦・派遣を行う。</p>	<p>(1) 1回目 【日時】4/23 【形式】山口県社会福祉会館 【内容】今年度事業、一時保護所訪問に向け協議。</p> <p><b>2 一時保護所・児童相談所との連絡協議</b></p> <p>(1) 1回目 【日時】5/14 【形式】山口県庁 【内容】一時保護所訪問導入に向け協議。</p> <p>(2) 2回目 【日時】6/11 【形式】中央児童相談所 【内容】一時保護所での定期訪問開始に向け最終調整。</p> <p>(3) 3回目 【日時】9/19 【形式】中央児童相談所 【内容】これまでの活動の振り返り協議。</p> <p><b>3 他都道府県士会への情報提供</b></p> <p>(1) 長野県社会福祉士会 【日時】4/26 【形式】オンライン 【内容】本事業の取り組みについての情報提供</p> <p>(2) 愛媛県社会福祉士会 【日時】7/25 【形式】山口県社会福祉会館 【内容】本事業の取り組みについての情報提供</p> <p><b>4 他団体との連携・協力</b></p> <p>(1) アンケート調査に協力した。 「子どもの意見表明等支援事業に関するアンケート調査」(NPO 法人 全国子どもアドボカシー協議会)</p>
<p><b>4 委員会を開催</b> 上記の事業の遂行にあたり、スーパーバイザーを迎え、年 12 回委員会及びアドボケイト定例会議を開催するとともに、必要に応じて随時開催する。</p>	<p><b>1 スーパーバイザーの設置</b> 意見表明支援員は、定期的にスーパーバイザーからアドボカシーサービスに関連した対応について、指導や評価等を受けた。</p> <p><b>2 スーパーバイザーに同席いただき、本事業の遂行にあたり、オンラインで委員会を開催した。</b> 第 1 回目 4/3、第 2 回目 5/9、第 3 回目 6/5、第 4 回目 7/3、第 5 回目 8/7、第 6 回 9/4、第 7 回 10/2、第 8 回 11/6、第 9 回 12/4、第 10 回 2/5、第 11 回 3/5。</p> <p><b>3 子どもアドボケイト定例会議を開催した。</b> 委員会とは別に子どもアドボケイト登録者による訪問型アドボカシーの振り返りや対応方法など、オンラインで会議を実施した。開催日は上記、委員会と同日。</p>
<p><b>■総括</b> 意見表明支援員の養成研修が修了し、37 名がアドボケイトとして登録していただくことができた。アドボケイトは会員有無、職種や職歴など多様であり、訪問アドボケイトの情報管理・派遣調整・記録管理・月 1 回の定例会議の運営・スーパーバイズ機能・質の担保など図ってきたが、今後、さらに、訪問する施設の拡大や一時保護所への訪問など、活動範囲が増えることから、運営・教育・管理面の整備が求められる。</p>	

### (3) 公益事業部

事業方針にもとづき、公益事業部は次の事業を行う。

#### ■委員会名：権利擁護センターばあとなあ山口委員会

○担当理事：安光洋平

○委員長：安光洋平

○副委員長：金江浩子、藤井哲治

○委員：小林大亮、河面英治、大野繁己、大野奈央子、深谷豊、越智尚史、池本恭子、西村陽子、田中英之、吉村直美

#### 【委員会設置目的】

社会福祉の援助を必要とする山口県民が地域で自立した生活を送ることができるよう、権利擁護並びに成年後見制度等に関する事業を行う。

#### 【基本方針】

- 地域住民が抱える課題解決やニーズに応えるため、社会福祉士が身近な存在となるよう、社会福祉士の活動を広く地域住民に周知していくことができるように努める。
- 専門職として質の高い援助が提供できるよう、倫理意識の向上及び対人援助技術等の向上を目指す。
- 各圏域の活動を活性化し、会員同士の顔が見える関係をつくることで、相互に協力し支え合う組織づくりを目指す。
- 弁護士会等他の職能団体や関係機関との協同、連携の強化に努める。

#### 【重点目標】

1 専門職として質の高い援助が提供できるよう、倫理意識の向上及び意思決定支援の下で本人のための財産管理・身上保護の取組の向上を目指す。

事業計画	事業報告
1 権利擁護に関する相談事業 (1) 本会事務局に相談窓口の設置 (2) 山口県弁護士会が実施している高齢者・障害者出張相談への会員派遣	1 権利擁護に関する相談事業の実施 (1) 本会事務局に相談窓口の設置 本会事務局に相談窓口を設置し相談対応。 (2) 高齢者・障害者出張相談ヘスタッフの派遣 派遣実績 0 件
2 未成年後見人等・成年後見人等候補者の推薦に関する事業 (1) 未成年後見人等、成年後見人等の推薦 (2) 未成年後見人等、成年後見人等受任者の支援 (3) ばあとなあ名簿追記登録審査、ばあとなあ名簿登録審査 (4) ばあとなあ活動報告チェック (年2回) (5) 業務監査委員会の開催 (年2回)	1 成年後見人等候補者の推薦に関する事業を実施 (1) 後見人等の候補者の推薦 山口家庭裁判所より後見人等の候補者照会依頼を受けた後、委員会において候補者を調整し適任者を推薦した。 ・推薦依頼件数 153 件・受任件数 144 件 (家裁による取下げ 3 件、候補者不在 6 件) (2) 会員の支援 圏域委員により隨時支援を実施。

<p>(6) 本会事務局に相談・苦情受付窓口を設置</p>	<p>(3) 名簿登録審査 2025年度名簿登録審査を3月31日に実施。</p> <p>(4) ばあとなあ活動報告の提出 活動報告システムを導入し、年2回（2月、8月）実施。</p> <p>(5) 業務監査委員会の開催 1) 第21回業務監査委員会 【開催日】4/18【形式】オンライン 【出席者】業務監査委員3名、正副委員長 2) 第22回業務監査委員会 【開催日】11/25【形式】オンライン 【出席者】業務監査委員3名、正副委員長</p> <p>(6) 相談・苦情受付窓口 本会事務局に相談・苦情受付窓口を設置して対応。</p>
<p>3 研修等に関する事業 (1) 成年後見人材育成研修への受講者の推薦 (2) 名簿登録研修の開催 (3) 名簿登録更新研修の開催 (4) 圏域ごとに弁護士会との合同勉強会の開催 (5) ばあとなあ山口全体会議で事例検討や勉強会の実施（年4回） (6) ばあとなあ山口会員への成年後見制度利用促進に関する情報提供</p>	<p>1 研修等に関する事業の実施 (1) 令和6年度成年後見人材育成研修 1) 受講者7名の推薦を行った。 2) 後見人材育成研修チューター派遣 【開催日】10/6【形式】広島県社会福祉会館【派遣者】安光洋平 (2) 名簿登録研修の実施 【開催日】2/15【形式】身体障害者センター研修室【参加数】12名 (3) 名簿登録更新研修の実施 1月以降に、受講しやすいように同内容を3回実施した。 【開催日】第1回目1/25（収集形式）、第2回目2/18（オンライン）【内容】全国統一書式の活用について (4) 県内5圏域に分かれ、圏域ごとに勉強会の実施 1) 下関圏域 ① 1回目 【内容】後見活動についてのおしゃべり会【開催日】6/13【場所】オンライン【参加数】社会福祉士11名 ② 2回目 【内容】事例検討【開催日】7/23【場所】しものせき市民活動センター中会議室【参加数】社会福祉士11名、弁護士2名 ③ 3回目 【内容】後見活動についてのおしゃべり会【開催日】10/10【場所】オンライン【参加数】社会福祉士7人</p>

④4回目

【内容】事例検討等【開催日】11/18【場所】下関市勤労福祉会館 2階第5会議【参加数】社会福祉士6人

⑤5回目

【内容】事例検討～2事例から学ぶ～【開催日】2/26【場所】オンライン【参加数】社会福祉士16人 弁護士2人

⑥6回目

【内容】後見活動についてのおしゃべり会【開催日】3/13【場所】オンライン【参加数】社会福祉士9人

2) 宇部圏域

①1回目

【内容】事例検討【開催日】6/17【場所】オンライン【参加数】社会福祉士13名

②2回目

【内容】情報交換会（宇部市ブロックと合同開催）【開催日】7/10【参加数】社会福祉士13人

③3回目

【内容】会員による情報提供【開催日】9/9【場所】オンライン【参加数】社会福祉士11人

④4回目

【内容】時効の援用について 講師:前田法律事務所 前田琢治弁護士【開催日】11/18【場所】多世代ふれあいセンター第2会議室【参加数】社会福祉士10人

⑤5回目

【内容】事例検討、近況報告、次期運営委員の選出について【開催日】1/21【場所】オンライン【参加数】10人

3) 山口・萩・防府圏域

①1回目

【内容】「成年後見制度の改正」【開催日】6/21【場所】オンライン【参加数】社会福祉士26名、弁護士2名

②2回目

【内容】「債務整理の基礎知識」講師:濱田隆弘弁護士【開催日】11/8【場所】オンライン【参加数】社会福祉士22名

③3回目

【内容】事例検討

<p>「知的障害があるクライエントの支援について」吉木社会福祉士、次期運営委員の選任について、濱田弁護士による講義【開催日】2/21【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 10 名</p>	<p>4) 周南圏域</p> <p>① 1回目</p> <p>【内容】「裁判例から学ぶ高齢者虐待対応」講師: 通山和史【開催日】7/19【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 23 人</p> <p>② 2回目</p> <p>【内容】「成年後見人の死後事務 ～はじめてに備えて基本を確認しよう～」講師: 鬼木泰子【開催日】9/20【場所】オンライン</p> <p>【参加数】社会福祉士 21 名</p> <p>③ 3回目</p> <p>【内容】『入退院時等の手続きについて』講師: 光市立光総合病院地域医療連携室 清水智博氏【開催日】10/18【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 23 名</p> <p>④ 4回目</p> <p>【内容】『事例検討等』河面英治会員【開催日】11/15【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 14 名</p> <p>⑤ 5回目</p> <p>【内容】①次期運営委員の選任について②次年度の研修担当の承認について③普段の後見業務における悩みや相談【開催日】2/21【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 7 名 弁護士 1 名</p> <p>5) 岩国圏域</p> <p>① 1回目</p> <p>【内容】「事例発表」～事例発表から自らの後見活動を振り返ってみよう～【開催日】6/20【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 17 名</p> <p>② 2回目</p> <p>【内容】遺言書の作成について【開催日】10/17【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 19 名</p> <p>③ 3回目</p> <p>【内容】①次期運営委員の選任について②圏域研修について③後見業務での意見交換</p> <p>【開催日】3/15【場所】愛宕スポーツコンプレックスカルチャーセンター 1 階会議室</p> <p>【参加数】社会福祉士 14 名</p>
--	--

4. 啓発事業に関する事業	<p><b>1 令和6年度成年後見制度利用活用セミナーの開催</b></p> <p>【内容】事例発表 岩金俊充「精神障害のあるクライエントへの支援と公正証書による遺言の作成支援」讃井康一「認知症高齢者の在宅生活を支える～成年後見活動を通じて～」【開催日】11/30【場所】オンライン</p> <p>【参加数】54名</p>
5 権利擁護に関する専門職団体、関係機関との連携に関する事業 (1)日本社会福祉士会権利擁護センターばあとなとの連携 (2)山口県弁護士会との協議会の開催(年3回) (3)山口家庭裁判所との連絡協議会への出席 (4)行政、関係機関などへの会員の派遣	<p><b>1 日本社会福祉士会権利擁護センターばあとなとの連携</b></p> <p>(1)アンケートなどの調査に協力</p> <p>①障害者年金に関する当事者等アンケート調査(日本弁護士連合会) ②「2024年度都道府県ばあとな概況調査」</p> <p>(2)2024年度 第1回都道府県ばあとな連絡協議会</p> <p>【開催日】7/28【形式】オンライン【内容】政策報告(法務省、最高裁判所、厚生労働省)パネルディスカッション等【出席者】安光洋平</p> <p>2024年度 第2回都道府県ばあとな連絡協議会</p> <p>【開催日】11/10【場所】ビジョンセンターグランデ東京浜松町 1001号室【内容】基調講演(新潟大学法学部教授 上山泰氏)、グループ協議等【出席者】安光洋平</p> <p>(3)中四国ブロックばあとな連絡協議会</p> <p>【開催日】8/4【形式】オンライン【内容】協議内容:①各県からの協議提案②受任件数、受任課題について活動報告システムの運用状況について③一定年齢以上の会員に対するフォローアップ体制、自分に何かあったときのフォローアップの仕組みはあるか?④報酬の基準、市町村利用支援事業、市長申立ての現状(昨年度からの進展)について⑤意思決定支援の取組みの現状について⑥法人後見の動向と必要性について及び法人・個人の監査体制、取り組んでの感想など⑦人材育成研修の現状と会員確保について⑧不正防止への社会福祉士会の取組み、ばあとなに寄せられる苦情解決の仕組みについて、倫理綱領、綱紀委員会について【出席者】安光洋平</p> <p><b>2 弁護士会との連携</b></p> <p>(1)連絡協議会の開催</p> <p>①第1回目</p> <p>【内容】「グループホームに入所している知的障がい者の支援」【開催日】4/27【場所】オンライン【参加数】</p>

社会福祉士 65 名、弁護士 4 名

②第 2 回目

【内容】「在宅ケースの困りごと相談」【講師】岡田卓司（岡田法律事務所）綿谷会員（社会福祉士）【開催日】8/3【場所】オンライン【参加数】社会福祉士 68 名、弁護士 7 名

③第 3 回目

【内容】「市長申立ての促進について」（下関市 鈴木弁護士）「後見活動をしていて迷うとき」（下関市 福本社会福祉士）【開催日】12/7【場所】セミナーパーク社会福祉研修室【参加数】社会福祉士 53 名、弁護士 3 名

**3 行政、関係機関などの協議会など委員へ会員の推薦を行った。**

**（1）委員の推薦**

岩国市社協成年後見サポートセンター運営委員会（上田克典）、宇都市成年後見センター受任調整会議（豊嶋則子）、萩市成年後見制度利用促進協議会（山田妙子、伊藤孝司）、宇都市成年後見制度等利用促進協議会（安光洋一）、山陽小野田市成年後見制度利用促進協議会（豊嶋則子）、平生町成年後見制度利用促進協議会（金江浩子）、美祢市成年後見制度利用促進協議会（池永泰典、越智尚史、豊嶋則子）岩国市成年後見制度利用促進関係者会議（山本孝博）、周南市成年後見制度利用促進連携協議会（室本好重）、上関町成年後見制度利用促進協議会（金江浩子）和木町権利擁護支援の地域連携ネットワークにおける協議会委員（上田克典）、山口市成年後見制度利用に係る受任調整会議構成員（池本恭子、越智尚史、大野奈央子）

**（2）家事関係機関との連絡協議会**

【内容】第二期成年後見制度推進基本計画を踏まえた課題、連携等【開催日】12/6【場所】オンライン【参加者】安光洋平

**4 関係機関等からの講師派遣依頼に対し、会員を紹介した。**

認知機能が低下した方への意思決定について（依頼元：医療法人愛命会 泉原病院、紹介会員：安光洋平）、成年後見人制度の概要（依頼元：自動車事故対策機構、紹介会員：安光洋平）、法定後見制度と任意後見制度（依頼元：宇都市成年後見センター、紹介会員：安光洋平）

**5 他都道府県士会との連携・協力**

	<p>相談・苦情対応体制の情報提供（愛媛県社会福祉士会へ）</p> <p><b>6 県との連携 山口県成年後見制度利用促進協議会</b>  【開催日】3/17 【場所】オンライン 【参加者】安光洋平【内容】・山口県における成年後見制度実態調査について・市民後見人養成講座の支援について</p> <p><b>7 市町との連携・協力</b>  調査票 成年後見制度に係る受任状況等の確認について（下関市福祉部長寿支援課）</p>
6 本会の他委員会との協働・連携	<p><b>1 本会の他委員会との協働・連携</b></p> <p><b>(1) 高齢者権利擁護推進委員会との連携</b>  権利擁護支援専門職チーム派遣に協力した。派遣実績回数 7回、相談件数 7件</p>
7 委員会・全体会議の開催(年4回)	<p><b>1 委員会・全体会議を開催した。</b></p> <p><b>(1) 第1回全体会議</b>  【内容】2023年度事業報告、決算報告など テーマ「後見活動で困っている事」（グループワーク）【開催日】4/27 【場所】オンライン 【参加数】68名</p> <p><b>(2) 第2回全体会議</b>  【内容】8月定期活動報告について テーマ「雑談力を鍛える」【開催日】8/3 【場所】オンライン 【参加数】69名</p> <p><b>(3) 第3回全体会議</b>  【内容】活動報告について 業務監査報告 テーマ「雑談力を鍛える」【開催日】12/7 【場所】セミナーパーク社会福祉研修室 【参加数】70名</p> <p><b>(4) 第4回全体会議</b>  【内容】2025年度事業計画、収支予算など【開催日】1/25 【参加数】74名</p>
8 その他、権利擁護に関するこ	<p><b>(1) 本会の他委員会との協働・連携</b>  高齢者権利擁護推進委員会事業の権利擁護支援専門職チーム派遣に協力した。  派遣実績回数 7回、相談件数 7件</p>

## ■総括

計画していた事業は全て滞りなく終了した。700件以上になり、年2回の活動報告書は、日本社会福祉士会の活動報告システムを導入したことで、報告書の管理・事務の効率化が図られた。成年後見活動においては、受任件数は年々増加傾向であり、受任者数も微増であるが、組織及び活動が拡大しつつある中、今一度、本委員会に係る規程類を整備に取り組み、適切な後見活動を遂行できるサポート体制の構築が課題である。

## ■委員会名：スクールソーシャルワーク委員会

- 担当理事：中村幸一郎
- 委員長：道中朋子
- 副委員長：藤田和博、藤井あゆみ
- 委員：岡崎裕美、田村真由美、山中翔平

### 【委員会設置目的】

社会福祉の援助を必要とする山口県民の生活と権利を擁護するため、スクールソーシャルワークに関する事業を行う。

### 【基本方針】

- 県のF Rアドバイザーに登録される社会福祉士（SSW）の推薦をする。
- 県内のいじめ問題に関する協議会や対策委員会、調査委員会、検証委員会等に会員を推薦する。
- SSWの資質向上のための、①SSW研修会（いじめの内容を含める）、②SSW初任者等研修を県精神保健福祉士協会、他県社会福祉士会等と共同で開催する。また勉強会として③SSW未来塾を実施する。
- フードバンク山口及び株式会社アービングと連携して、貧困家庭への支援を展開する。
- スクールソーシャルワークの実践を通して、子どもやその家族へ最善の支援を行っていく。

### 【重点目標】

- 1 定期的な研修や勉強会の開催により、会員の資質向上に努める。
- 2 子ども、保護者、学校、教育委員会など関係機関からのクレームに対して早期に対応し、不適切な支援についての指導とスキル向上のための支援を行い、関係の改善と信用の向上に努める。
- 3 フードバンク山口及び株式会社アービングと連携し、貧困家庭への支援の実績を積む。

事業計画	事業報告
1 研修 現任者への研修の企画・運営	<b>1 「SSW未来塾」開催</b> 10月5日（土）山口県立大学にて実施。26名参加。現役SSWだけでなく、SSWの活動に興味のある方、未来ある大学生の方々のご参加あり、時間が足りないほど熱心な皆さんとアツい研修となった。 <b>2 「SSW研修」</b> 3月22日（土）山口県立大学で実施し、25名参加。山口県いじめ問題対策協議会で発表したとおり、いじめに関する内容を含めている。
2 苦情・要望の受付窓口	1. なし
3 他団体との連携 精神保健福祉士協会のSSWのSSW研修では山口県精神保健福祉士協会と連携した。 担当部局との連携	5月の初任者等研修では、他県社会福祉士会等と連携。3月のSSW研修では山口県精神保健福祉士協会と連携した。
4 日本社会福祉士会との連携・協力	<b>1 アンケート調査に協力した。</b> スクールソーシャルワーク等に関する調査について（日本社

	会福祉士会)
5 関係機関・団体との連携協力	<p><b>1 関係機関・団体等からの各種会議等の委員に会員を推薦した。</b></p> <p>県立岩国商業高等学校東分校「いじめ調査委員会」、県立新南陽高等学校「いじめ調査委員会」、宇部市いじめ問題連絡協議会（安光洋平）、山口県いじめ問題調査検証委員会（梅木幹司）光市いじめ問題調査委員会委員（岡崎裕美）下松市いじめ問題調査委員会委員（中村あゆみ）</p> <p><b>2 行政や関係機関などの各種委員会や会議などに会員を派遣した。</b></p> <p>令和6年度山口県いじめ問題対策協議会「ネットワーク会議」（岡崎裕美）、令和6年度「山口県いじめ問題対策協議会」（岡崎裕美）</p>
6 その他、SSW事業に関わること	実績なし。
7 委員会を開催	隨時必要に応じてメールなどで協議した。
<p>■総括</p> <p>令和6年度も事業計画どおり実施することができた。5月の初任者等を対象にした研修は、他県社会福祉士会等と合同で行っているが、山口県からの参加人数が少ないことが課題である。10月の未来塾では、今回県立大学生へ声掛けしたが、今後県内の他大学とも連携していくことも検討していく。2月のSSW研修では悪天候のため、3月に延期したが、中止や延期の際の具体的な手順を今後確認しておく必要がある。</p> <p>また、計画に記載していないが、令和6年度は親睦会も行うことができた。参加者からは大変好評であったため、今後も機会を検討していきたい。</p>	

## ■委員会名：キャリア教育推進委員会

- 担当理事：山中将嗣
- 委員長：則近あゆみ
- 副委員長：西野宏美
- 委員：吉本暁子、尾中未来、西依毅志、佐伯美由紀、岡村僚太、木原久美

### 【委員会設置目的】

次世代・後継者育成の強化等に関する事業を行う。

### 【基本方針】

- 次世代育成の取組み強化として、①子どもへの働きかけ推進、②養成施設への働きかけ・連携の強化、③資格取得支援の推進を行う。
- 後継者育成の強化として、社会福祉士実習指導者の養成・支援を行う。現指導者の資向上のためのフォローアップを行い、質の高い実習指導の提供に寄与していく。

### 【重点目標】

- 1 次世代育成を目的とし、職能や会の魅力発信を行う。県内養成校との連携強化を図るため、ブロックと協働し身近な社会福祉士から発信できるようとする。
- 2 後継者育成を継続的に行えるよう、実習指導者養成を行い、県内養成校の学生が多く施設で実習できるよう、指導者の増員・確保を目指す。現指導者のスキルアップ、フォローアップを実施し、質の向上及び実習指導へのモチベーションアップを図る。

事業計画	事業報告
1 子どもへの働きかけ推進	<p>1 「社会福祉士ってどんな人？」のパンフレットを配布した。 小学校1校、中学校1校、ソーシャルワーカーデー参加者</p> <p>2. ふくしの寺子屋授業</p> <p>【開催予定日】：令和7年1月10日（金） 18:30～20:00</p> <p>【方法】：オンライン（Zoom）</p>
2 養成施設への働きかけ・連携の強化  (1)山口県立大学、至誠館大学、周南公立大学新、YIC介護福祉専門学校等にて、会の意義・入会の意義・会の魅力やソーシャルワーカーの実践事例を発信する。養成校のあるブロック活動部の協力を得て実施していく。学生や教員との意見交換を行う。	<p>1. 養成校へのPR活動</p> <p>(1) 山口県立大学 【開催日】：令和6年10月9日(水) 【登壇者】：上野副会長、徳田友美(日赤 MSW)、神田陽子(パーソナルサポートセンター)</p> <p>(2) 萩至誠館大学 【開催日】：令和6年12月3日(火) 12:45～14:15 【登壇者】：上田誠(社会福祉法人清風会 清風オリオン)、時田明人(社会福祉法人 山口育児院)</p>
3 社会福祉士実習指導者の養成・支援  (1)社会福祉士実習指導者フォローアップ研修の開催 (2)社会福祉士実習指導者講習会の開催	<p>1 社会福祉士実習指導者講習会</p> <p>【開催日】令和6年11月30日(土)9:45～18:00 令和6年12月1日(日)9:00～17:15 【内容】&lt;一日目&gt;「実習指導概論」内田充範(山口県立大学/社会福祉学部/教授)、「実習マネジメント論」：尾中未来(済生会山口地域ケアセンター居宅介護サービス 複合施設にほ</p>

	苑・特別養護老人ホームには苑/施設長)、実習プログラミング論」上野綾乃(防府北地域包括支援センター/センター長) <二日目>「実習スーパービジョン論」梅木幹司(至誠館大学/現代社会学部/教授) 【参加数】45名
4 資格取得支援の推進 社会福祉士全国統一模擬試験の実施に向けて、ブロック活動部と連携しながら取り組む	1 社会福祉士全国統一模擬試験の実施 【開催日】令和6年10月6日(日)【形式】会場受験(山口県立大学)、在宅受験【参加者】一般1名、学生86名 【スタッフ】山口ブロックにて4名調整
5 日本社会福祉士会との連携・協力	実績なし
6 関係機関・団体との連携協力	1 山口県立大学等の実習連絡会議などへ委員を派遣した。 (1) ソーシャルワーク実習Ⅰ報告会 【開催日】令和6年5月30日(木) 【場所】山口県立大学【派遣会員】吉本暁子 (2) ソーシャルワーク実習Ⅱ報告会 【開催日】令和6年11月21日(木) 【場所】山口県立大学【派遣会員】西依毅志
7 委員会を開催 上記の事業の遂行にあたり委員会を開催するとともに、必要に応じて随時開催する。	1. 委員会議を開催した。 (1) 1回目 【開催日】令和6年5月28日(火) 【形式】オンライン 【内容】事業の遂行について (2) 2回目 【開催日】令和6年10月30日(月) 【形式】オンライン 【内容】実習指導者講習会、フォローアップ研修などの打ち合わせ、その他・臨時会議 (3) 3回目 【開催日】令和6年11月8日(水) 【形式】オンライン 【内容】フォローアップ研修会講師との打ち合わせ
■総括	今年度も各ブロックの会員の皆さんにもご協力頂き、各大学で実践報告及びPR活動や統一模試の開催等を行なった。委員会の活動内容が多く、また、下半期に予定が偏っており、後半の活動が慌しくなってしまった。来年度からは体制の見直しが行われ、活動内容が実習指導者の養成・フォローアップに特化した委員会となる予定である。

**■委員会名：司法ソーシャルワーク委員会**

○担当理事：山本孝博

○委員長：遠藤嵩大

○委員：讚井康一、橋本嘉美、大田純子

**【委員会設置目的】**

生きづらさを抱え、罪に問われた人が社会の一員として地域で自律した生活を送ることができるよう、司法ソーシャルワークに関する事業を行う。

**【基本方針】**

- 1 罪に問われた人はわれわれと同じ一人の人間であり、生活者であるという理念を共有する。
- 2 ソーシャルワークの価値、倫理、理論、技術に基づき実践する人材を育成、支援する。
- 3 罪に問われた人やその家族（以下「当事者」という。）及び関係機関からの相談に応じ、そのニーズや課題に即した支援を行う。
- 4 当事者及び関係機関とともに事業を展開する。
- 5 既成概念にとらわれず、柔軟な姿勢をもって権利擁護に取り組む。

**【重点目標】**

相談支援事業の推進を図る。

事業計画	事業報告
1 司法ソーシャルワーカーの育成及び司法福祉分野で活動する社会福祉士の支援	1 司法ソーシャルワークに関する研修を実施した。
2 司法ソーシャルワークに関する研修等の実施	1 司法ソーシャルワークに関する研修 【開催予定日】11/23（土）【場所】防府市文化福祉会館 【内容】①講義「罪に問われた方を支える」讚井康一 氏（司法ソーシャルワーク委員会委員）②グループワークにて事例検討③司法ソーシャルワーク委員会事業説明
3 相談支援事業（本会事務局に受付窓口を設置）	1 相談支援事業の開始 ・相談対応の流れ、周知方法等を委員会で検討し、令和6年10月から事業開始。 【相談対応件数】4件
4 当事者（団体を含む）、医療・福祉機関、官公庁、四会連携会議（県弁護士会、県精神保健福祉士協会、県社会福祉協議会）等との連携・協働によるネットワーク構築、研鑽、広報啓発その他活動	1 四会連携会議への出席 「令和6年度 罪に問われた障害者・高齢者の支援に携わる福祉関係者のための四会合同研修会（令和7年1月29日）」の開催内容等を協議。 (1) 1回目 【開催日】10/11【形式】集合【内容】合同研修の内容検討【参加者数】6名 (2) 2回目 【開催日】10/29【形式】集合・オンライン【内容】合同研修の内容検討【参加者数】9名

	<p>(3) 3回目 【開催日】11/11【形式】集合・オンライン【内容】合同研修の内容検討【参加者数】9名</p> <p>(4) 4回目 【開催日】11/25【形式】集合・オンライン【内容】合同研修の内容検討【参加者数】11名</p> <p>(5) 5回目 【開催日】1/20【形式】集合・オンライン【内容】合同研修の事前打合せ【参加者数】8名</p> <p>(6) 6回目 【開催日】2/25【形式】集合・オンライン【内容】合同研修の振り返り、令和7年度研修運営方法等について【参加者数】7名</p> <p>(7) 7回目 【開催日】3/25【形式】集合・オンライン【内容】合同研修の振り返り、令和7年度研修運営方法等について【参加者数】10名</p>
5 日本社会福祉士会との連携・協力	実績なし
6 関係機関・団体との連携協力 関係機関・団体の協議会等に会員の推薦・派遣を行う。	<p>1 令和6年度やまぐち再犯防止推進ネットワーク協議会へ出席 【開催日】2/5【場所】県庁【出席者】橋本嘉美</p> <p>2 令和6年度山口県地域生活定着支援センター連絡会議へ出席 【開催日】3/7【場所】山口県社会福祉会館【出席者】遠藤嵩大</p>
7 その他権利擁護に関する活動	実績なし
8 委員会を開催 上記の事業の遂行にあたり委員会を定期開催するとともに、必要に応じて随時開催する。	<p>1. 委員会を開催</p> <p>(1) 1回目 【開催日】5/22【形式】オンライン【内容】今年度の事業遂行に向けた検討【参加者数】5名</p> <p>(2) 2回目 【開催日】7/19【形式】オンライン【内容】相談窓口対応・養成研修などの打ち合わせ【参加者数】5名</p> <p>(3) 3回目 【開催日】8/27【形式】オンライン【内容】相談窓口対応・養成研修などの打ち合わせ【参加者数】6名</p> <p>(4) 4回目</p>

	<p>【開催日】9/24 【形式】オンライン 【内容】相談窓口対応・養成研修などの打ち合わせ 【参加者数】 5名            (5) 5回目</p> <p>【開催日】10/22 【形式】オンライン 【内容】相談窓口対応・養成研修などの打ち合わせ 【参加者数】 5名            (6) 6回目</p> <p>【開催日】11/13 【形式】オンライン 【内容】相談窓口対応・養成研修などの打ち合わせ 【参加者数】 4名</p>
■総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度から開始した相談支援事業について、会員及び関係機関などに引き続き周知を行う。</li> <li>・会員に対する、司法ソーシャルワークに関する関心を高めるための周知活動を他委員会と連携する等して取り組む。</li> </ul>

**■委員会名：スーパービジョン委員会**

○担当理事：尾中未来

○委員長：橋康彦

○委員：伊藤孝司、橋本達哉、讚井康一、鬼木泰子、須原志保

**【委員会設置目的】**

認定社会福祉士制度の普及及び取得の推進に関する事業を行う。

**【基本方針】**

認定社会福祉士認証・認定機構が定める「認定社会福祉士制度スーパーバイザー実施要綱」に基づき、本会所属会員が本会を介してスーパービジョンを実施する際のサポートを行う。対象は、認定社会福祉士及び認定上級社会福祉士の取得及び更新を目的して実施するスーパービジョンに限らない。

- (1) バイザー名簿の作成及びバイジーへのバイザー情報提供
- (2) スーパービジョン仮申し込み及び本申し込み受付
- (3) バイザーとバイジーのマッチング
- (4) スーパービジョンに係る経費の請求・受領及び支払、受講管理
- (5) スーパービジョンの進捗状況の把握
- (6) バイザー、バイジーの相談及び苦情対応
- (7) バイザー、バイジーへの助言・指導
- (8) バイザーのスキルアップ
- (9) バイザー、バイジーのフォローアップ体制の構築
- (10) その他バイザー及びバイジーからの申し出に対する事務処理等
- (11) 認定社会福祉士の資格取得支援の推進
- (12) その他本委員会設置目的に合致する事項

事業計画	事業報告
<p>1 委員会の開催</p> <p>定期的、適宜、必要に応じて委員会委員会議を開催して、次のことを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・バイザーとバイジーのマッチング</li><li>・スーパービジョンの進捗状況の把握</li><li>・バイザー、バイジーの相談及び苦情対応</li><li>・バイザー、バイジーへの助言・指導</li><li>・バイザー、バイジーのフォローアップ体制の検討</li><li>・その他バイザー及びバイジーからの申し出に対する事務処理等</li></ul> <p>(定期開催日時)</p> <p>4、7、10、1月の第3月曜日</p>	<p><b>1 委員会を開催した。</b></p> <p>(1) 1回目</p> <p>【開催日】4/15 【形式】オンライン 【内容】①現在進行しているスーパービジョンの進捗報告を2件実施。質疑もなく進捗の確認を行った。②山口県内の認定社会福祉士を増やすための課題整理を行うため、次回までに検討事項を用意するとした。【参加者人数】7名</p> <p>(2) 2回目</p> <p>【開催日】7/29 【形式】オンライン 【内容】①スーパービジョンの進捗状況の確認など確認。今回で進行しているスーパービジョンは終了。1件新たな申し込みがあり、マッチングを行った。希望通りマッチングが完了。②認定社会福祉士数の増加に向けた意見交換を実施。年度内でとりまとめ、執行部へ意見提言を行う【参加者人数】6名</p> <p>(3) 3回目</p> <p>【開催日】10/21⇒延期</p> <p>(4) 4回目</p> <p>【開催日】1/20 【参加者人数】5名 【内容】①スーパービジョンの進捗状況の確認。新規申し込みはなし。②認定社</p>

の 18 時 30 分から 20 時まで、基本はオンライン。	会福祉士会の増加に向けた意見交換実施。日本社会福祉士会が実施している認定社会福祉士更新対象者へのアンケート結果を確認し、増加に向けた具体策を来期に策定する。
2 スーパービジョンに係る事務処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパービジョンのマッチングを実施。</li> <li>・バイザーの名簿の公開</li> </ul>
3 日本社会福祉士会との連携・協力	認定社会福祉士登録委員会の委員に委員長長橋が参加しており、これまで認定社会福祉士を登録した方（未更新者も含む）へのアンケート調査を実施しており、その結果を踏まえ委員会の開催予定。（11月17日に開催されましたが、日程が合わず不参加。後日議事録を確認することとしている）
4 関係機関・団体との連携協力	実績なし
<p>■総括</p> <p>今年度は、事業計画通り委員会活動を行った。</p> <p>期中に日本社会福祉士会が認定社会福祉士の更新対象者等に対してアンケート調査を行ったため、その結果を踏まえて山口県社会福祉士会においても認定社会福祉士の登録者の増加へ向けた取り組みを企画検討。アンケート結果の公表を踏まえ次年度具体策を検討することとする。また、当委員会の委員は現状 6 名であるが、裾野を広げるためにも 2 名程度委員の増員を希望する。</p>	

#### (4) 総合企画部

事業方針にもとづき、総合企画部は次の事業を行った。

##### ■総合企画部

○部会長：藤本真樹

○担当理事：越智尚史、佐藤義浩、神田陽子、高木裕美、秋田将利

##### 【委員会設置目的】

社会情勢の変化に伴い社会福祉及び介護を取り巻く状況の変化に応じて、職能団体として取り組むべき課題を抽出し必要な事業を推進することで、社会福祉士としての専門性の維持・向上を図り、また倫理綱領に基づいた相談援助活動が行えるように必要な知識、技術の専門性と倫理性を常に向上させるとともに、社会福祉の援助を必要とする県民の生活と権利の擁護及び社会福祉の増進に寄与する。

##### 【基本方針】

第一期中期計画の基本方針に基づき、目標の達成を見据えた事業展開を行う。

##### 【重点目標】

第一期中期計画の総合評価を行い、第二期中期計画の策定に取り組む。

事業計画	事業報告
<p>1 組織基盤の整備・強化を図るため、次の事業を進める。</p> <p>(1) 強い組織化</p> <p>1) 本会や社会福祉士へのニーズに応える事業の推進</p> <p>① 第一期中期計画の実施状況の評価を行う。</p> <p>② 第二期中期計画の検討を行う。</p> <p>2) 会員参加の法人運営の推進</p> <p>① 企画や運営を担う会員を募集し、次の3つの企画チームを立ち上げるとともに、他部の協力を得ながら、事業遂行を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・第30回定時社員総会時(6月末)の講演会</li><li>・第31回定時社員総会時(3月末)の講演会</li><li>・独立型社会福祉士実践報告&amp;会員交流会</li></ul> <p>② 委員会活動における研修当日の運営スタッフへの交通費の支給を行い、活動しや</p>	<p><b>1. 組織基盤の整備・強化に向けた取り組み</b></p> <p>(1) 第一期中期計画の実施状況の評価及び第二期中期計画の検討</p> <p>1) 1回目 【開催日】6/29 【場所】山口県健康づくりセンター</p> <p>2) 2回目 【開催日】8/8 【形式】オンライン</p> <p>3) 3回目 【開催日】9/24 【形式】オンライン</p> <p>(2) 会員数750名へ ブロック活動部に協力依頼を行った。</p> <p>(3) 企画チームによる事業</p> <p>1) 第30回定時社員総会時の講演会 【テーマ】【講師】西島善久(日本社会福祉士会/会長)【開催日】6/29【場所】山口県健康づくりセンター/オンライン【参加数】44名</p> <p>2) 第31回定時社員総会時の講演会 【テーマ】能登半島地震活動報告会【内容および講師】▶第1部 説明「山口県DWAT派遣の流れについて」(説明) 山口県社会福祉協議会 災害福祉支援センター▶第2部 活動報告「DWATの活動について」(報告者) 大西勇祐裕(山口県災害派遣福祉チーム員)▶第3部 活動報告「被災者見守り・相談支援について」(報告者) 坂井芳浩(社会福祉士)【開催日】3/29【場所】山口県総合保健会館/オンライン【参加数】30名(内、オンライン13名)</p>

<p>すい環境を提供。新 3) 事務局体制の強化 (2) 会員支援の整備・強 化</p>	<p>3) 独立型社会福祉士実践報告会&amp;情報交換会 【内容・講師】「独立型社会福祉士になってみて」講師：大野奈央子（成年後見絆 央/代表）【開催日】令和7年3月28日【場所】防府市市民活動支援センター【参加数】10名 <b>(4) 本会独自の綱紀案件対応システムの構築</b> 総合企画部で検討した結果、引き続き、日本社会福祉士会と綱紀案件事務委託契約を締結していくこととした。 <b>(5) 研修に係る作業の効率化</b> 申し込みはフォームのみで受付することにより、事務作業の煩雑さを軽減した。</p>
<p>2 権利擁護及び地域福祉の 増進を図るため、次の事業を 進める。 (1) ブロック活動部の強化 1) 地域に則した活動の強 化 2) 会員ファーストの活動 重視 (2) 公益事業部の強化・拡 充 1) 災害支援協力員の募集 2) 山口県DWA Tへの協力 3) 日本社会福祉士会との連 携・協力 4) 災害支援委員会の設置の 検討 新</p>	<p><b>1. ブロック活動部の強化</b> 計画に応じた財源導入を図り、ブロック活動の活性化を図った。 (1) ブロックにて、新入会員歓迎会などの開催 (2) ブロックにて、オリエンテーションの開催 (3) 会員数 750名へ 各ブロックで新入会員の目標数を設定して、会員数750名を目指した。 <b>(4) 総合企画部との合同会議を開催</b> 【開催日】11/16【方法】オンライン【内容】来年度のブロック活動 計画について、第二期中期計画に向けた組織体制について、ブロック 活動の流れについて、事業計画と予算の提出について</p> <p><b>2. 公益事業部の強化・拡充</b> <b>(1) 災害支援に関する取組</b> 1) 災害支援活動協力員の募集継続 【内容】会報などで災害支援協力員を募集。登録者には、名簿登録 者専用のメーリングリストを設置し、災害支援に関する情報を提供 【災害支援活動協力員登録者】9名 2) 他団体機関との連携 ①能登半島地震災害支援（中国ブロック）会議に出席 【開催日】5/16【形式】オンライン【内容】災害フェーズの変化に 伴い派遣元地域の拡大について【出席者】吉村真 ②日本社会福祉士会による能登半島地震災害支援活動に協力し、支 援活動者派遣の調整を行った。【派遣会員数】3名 3) 県との連携 ①山口県災害派遣福祉チーム 能登半島地震活動報告会へ出席 【開催日】6/18【形式】オンライン【内容】報告「能登半島地震に おけるDWA Tの活動状況」について、活動報告「能登半島地震に おける活動について」、説明「山口県DWA T派遣の流れについて」 【参加人数】5名 ②令和6年度山口県災害福祉支援ネットワーク会議に出席</p>

	【開催日】 2/13 【形式】 オンライン 【出席者】 藤本真樹
<p>3 専門性の向上を図るため、次の事業を進める。</p> <p>(1) キャリアアップ体制の強化</p> <p>1) 生涯研修の普及・推進</p> <p>① 会報や会員のしおりを通して、生涯研修制度についての周知。</p> <p>② 企画運営への活動率の向上を図るため、3つの企画チームの立ち上げ。</p> <p>(2) 専門的・実践能力の向上</p> <p>(3) 認定社会福祉士制度の普及及び取得の推進</p> <p>1) 基礎研修の促進・充実</p> <p>2) 認定社会福祉士の資格取得支援の推進</p>	<p><b>1. 生涯研修の普及・推進</b></p> <p>(1) <b>生涯研修制度の周知</b></p> <p>会報や会員のしおりを通して、生涯研修制度を周知した。</p> <p>(2) <b>企画運営への活動率の向上</b></p> <p>3つの企画チームを立ち上げて、企画チームの企画運営に担う会員を募集した。</p> <p>【本部会報告「事業計画1の報告1-(3)」を参照】</p> <p><b>2. 専門的・実践能力の向上</b></p> <p>(1) <b>独立型社会福祉士実践報告会の開催</b></p> <p>【本部会報告「事業計画1の報告1-(3)」を参照】</p> <p>(2) <b>e-ラーニングの普及・活用の推進</b></p> <p>日本社会福祉士会のe-ラーニング事業にかかる本会に所属する正会員が視聴する際の費用を本会が負担し、会員に自己研鑽の機会を提供した。</p> <p><b>3. 認定社会福祉士制度の普及及び取得の推進</b></p> <p>(1) <b>基礎研修の開催</b></p> <p>e-ラーニング、オンライン、収集形式と、研修効果が最大限得られる形式で、基礎研修I・II・IIIを開催。【参加数】基礎研修I:32名、基礎研修II:19名、基礎研修III:15名</p> <p>(2) <b>受講者の獲得</b></p> <p>基礎研修Iの受講料を2023年度以降入会者につき5000円引きで設定。</p>
<p>4 発信力の強化を図るため、次の事業を進める。</p> <p>(1) 情報発信の強化</p> <p>1) 会報Joy'n、ホームページ、LINEやFacebookなどで情報発信を図る。</p> <p>2) 定期的に情報発信(年5回(5月末、7月末、9月末、11月末、2月末)を行う。</p> <p>(2) 社会的認知度の向上</p> <p>1) 社会福祉士人材バンク制度の普及啓発。</p>	<p><b>1 会報Joy'nの発行</b></p> <p>会報Joy'nを年5回(5月末、7月末、9月末、11月末、2月末)発行し、会活動の周知とともに、会員の会活動への参加促進を図った。</p> <p>【発行番号、発行日】①会報Joy'n第40号(5月27日発行)②会報Joy'n第41号(7月29日発行)③会報Joy'n第42号(9月30日発行)④会報Joy'n第43号(11月29日発行)⑤会報Joy'n第44号(2月24日発行)</p> <p><b>2 本会会員の人材バンク登録制度</b></p> <p>8/24開催した第2回通常理事会において、「社会福祉士人材バンク名簿登録に関する規程第42号」の廃止について上程され、出席理事の全会一致で可決された。</p> <p>今後は、今後は社会福祉士を講師などで派遣する事業を通じて社会福</p>

	<p>祉士の認知度の向上を図っていくこととした。</p> <h3>3 後援承諾</h3> <p>関係機関などからの後援申請に対して承諾することで、関係機関との連携強化及び当会の社会的認知度の向上を図った。</p> <p>第 22 回「法と福祉のセミナー」(萩・長門法律相談センター運営委員会)、令和 6 年度山口県地域こどもの居場所づくり体制強化事業 こどもの居場所づくりセミナー(特定非営利活動法人山口せわやきネットワーク)、県下一斉フードパントリー 2024(山口県こども食堂・子どもの居場所ネットワーク)、第 21 回山口県ケアマネジメント研究大会(一般社団法人山口県介護支援専門員協会) 地域包括ケア推進研修会(一般社団法人徳山医師会)、こころの健康・メンタルヘルス講演会(NPO 法人周南さわやか会)、令和 6 年度「介護の日」記念イベント(一般社団法人山口県介護福祉士会周南ブロック)、日本ロボットリハビリテーション・ケアフォーラム(NPO 法人日本ロボットリハビリテーション・ケア研究会)、こどもまんなかフォーラム「山口こども応援ミーティング 2024」(特定非営利活動法人山口せわやきネットワーク)、第 6 回山口県認知症カフェサミット(山口県)、ヤングケアラーケアフル講演会 in 山口(NPO 法人コネクト・ワン)</p>
<p>5 ネットワークの構築・強化を図るため、次の事業を進める。</p> <p>(1) 会員相互の交流促進</p> <p>1) ネットワーククリストの普及・拡大。</p> <p>2) LINE 公式アカウント及び Facebook を用いて情報発信。</p> <p>(2) 行政との連携</p> <p>1) 各種委員等へ会員を推薦する。</p> <p>(3) 山口県内のソーシャルワーカー関係団体との連携強化</p> <p>1) 年 2 回程度の連絡協議会への参画。</p> <p>2) ソーシャルワーカーディベントを共催開催。</p> <p>(4) 県内のソーシャルワーカー関係団体以外との連携</p> <p>1) 研修開催においては、積極的に後援申請を行う。</p>	<p><b>1. ネットワーククリストの普及・拡大</b> 会報やホームページで周知し登録者を募集。【登録者数】181 名</p> <p><b>2. LINE 公式アカウントの開設</b> LINE 公式アカウントは、費用対効果から使用を中止した。代わりに、Instagram を使用した情報発信を図ることとした。</p> <p><b>3. 各種委員等へ会員推薦</b> 関係機関等からの各種委員等の推薦依頼に対し、会員を推薦した。(委員会事業に関係する協議会等に関しては、各委員会欄に記載)</p> <p>DV 被害者自立支援ネットワーク山口(杉山美羽)、第 74 回「社会を明るくする運動」山口県推進委員会(辻中浩司)、山口県福祉サービス運営適正化委員会(上野綾乃) 山口県地域生活定着センター福祉サービス等調整計画検討委員会(伊藤孝司)、山口県介護福祉士会倫理委員会(辻中浩司) 山口県介護保健審査会委員(上野綾乃)</p> <p><b>4. 各協議会等へ会員出席</b> 関係機関等からの会議出席依頼に対し、会員が出席した。(委員会事業に関係する協議会等に関しては、各委員会欄に記載)</p> <p>令和 6 年度福祉のしごと・保育のしごと就職フェアの相談コーナーにかかる相談対応者(藤本真樹)、令和 6 年度やまぐち外国人相談支援</p>

<p>2) 各種連絡会等への会員派遣。</p> <p>(5) 県外のソーシャルワーカー関係団体との連携</p> <p>1) 日本社会福祉士会との連携強化</p> <p>① 日本社会福祉士会主催研修や会議等への会員の推薦・派遣。</p> <p>② 日本社会福祉士会の生涯研修センター及び各種委員会等との連携・協力。</p> <p>③ 紹介案件事務委託契約の締結。</p> <p>2) 中国ブロック県士会との連携強化</p> <p>① 中国ブロック会議への出席。</p> <p>② 協定に基づき、基礎研修ⅠⅡⅢ振替</p>	<p>ネットワーク会議（上野綾乃）、令和6年度山口県介護労働懇談会（上野綾乃）</p> <p><b>5. 関係機関等への講師紹介</b> 関係機関等からの講師派遣依頼に対し、会員を紹介した。（委員会事業に関係する協議会等に関しては、各委員会欄に記載）</p> <p><b>6. 山口県ソーシャルワーカー連絡協議会との連携強化</b></p> <p>(1) 山口県ソーシャルワーカー連絡協議会に参画</p> <p>1) 1回目 【開催日】7/15【会場】周南・学びプラザ【参加数】当会名、精神保健福祉士協会名、医療ソーシャルワーカー協会名【内容】情報共有</p> <p>2) 2回目 【開催日】2/7（予定）【方法】オンライン【参加数】当会名、精神保健福祉士協会名、医療ソーシャルワーカー協会名【内容】SWD振り返りと情報共有</p> <p>(2) ソーシャルワーカーデーイベントの共催 【開催日】7/15【会場】周南市・学びプラザ【担当者】東部ブロック 【内容】障害福祉サービス事業所による物販ブース、講義「ソーシャルワーカーについて」、「福祉に触れようワークショップ」【参加者数】総参加者数：108名（内訳）学生：24名、社会人：84名</p> <p><b>7. 日本社会福祉士会主催研修等へ受講者推薦</b> 部・委員会に関連するものは、各部・委員会の活動報告に記載。 倫理綱領・行動規範研修講師養成研修（鬼木泰子）</p> <p><b>9. 日本社会福祉士会との連携・協力</b></p> <p>(1) 第36回日本社会福祉士会通常総会 【開催日】6/15【場所】鉄鋼会館（東京都中央区日本橋）【参加者】辻中浩司</p> <p>(2) 2024年度日本社会福祉士会臨時総会 【開催日】3/15【場所】鉄鋼会館（東京都中央区日本橋）【参加者】辻中浩司</p> <p>(3) 2024年度都道府県会長会議 【開催日】9/7から9/8【場所】ビジョンセンター東京八重洲【内容】試験合格後の職能団体の在り方について、不祥事案への対応と発生予防について、県士会からの討議テーマ（災害支援について等）、講演「子ども家庭分野の政策動向と社会福祉士への期待（仮題）」、子ども家庭分野における社会福祉士会の役割、連絡報告【出席者】辻中浩司</p> <p>(4) 権利擁護センターぱあとなあととの連携</p>
---	---

詳細は、ぱあとなあ山口委員会報告を参照。

(5) 全国生涯研修委員会議

1) 1回目

【開催日】5/12 【場所】オンライン 【内容】研修運営の工夫について 【出席者】吉村真

2) 2回目

【開催日】【場所】東京代々木 【内容】生涯研修管理システムの案内、倫理綱領・行動規範について、基礎研修の課題評価の仕方について、災害時の情報共有、連携の在り方について 【出席者】吉村真

(6) アンケート調査などへの協力

30歳以下の新規入会者に対する減免措置に関するアンケート(2024年度)、虐待対応にかかる標準研修及び専門職チームに関する実績報告(2023年度分)、虐待専門職チーム派遣報告(2023年度分)、都道府県社会福祉士会で実施している受託事業等に関するアンケート調査について、2025年度第1回全国生涯研修委員会議事前調査

(7) 2024年度事務局代表者会議

【開催日】2/5 【場所】オンライン 【内容】① 業務の効率化に向けた取り組みについて ② 職員が働きやすい職場づくりのための取り組みについて ③ ぱあとなあに関する事務局の役割について 【参加者】吉村真

(8) 都道府県社会福祉士会災害担当者会議

【開催日】3/9 【場所】オンライン 【内容】基調講演「災害ケースマネジメントの『これから』」、県士会からの報告(15分×2) 令和6年能登半島地震における支援(石川県士会)、県内で発生した大雨被害における支援(山形県士会) 【参加者】藤本真樹

(9) 正会員事務局職員向け研修会

【開催日】12/12 【場所】オンライン 【内容】『クレーム応対の基礎研修II～事例をもとに考える～』 【参加者】藤岡八重

## 1.1. 繩紀案件事務委託契約

日本社会福祉士会と契約を締結した。

## 1.2. 中国ブロック県士会との連携

(1) 基礎研修の振替受講を調整した。

(2) 中国ブロック会議へ出席した。

【開催日】11/9 【場所】広島県社会福祉会館 【内容】2025年全国大会に向けての協働、災害時における近県での支援体制、他 【出席者】辻中浩司、吉村真

## 1.3. 都道府県社会福祉士会との連携強化

	全国大会に関する情報提供を行った。(島根県社会福祉士会)、成年後見制度利用に係る送付先変更の窓口一括受付に関する状況調査について (兵庫県士会)
■総括	第二期中期計画最終年度となった 2024 年度、総合企画部では、第二期中期計画に向けて、理事会やブロック長会議でご意見を伺う機会を設けながら、第一期中期計画の評価を踏まえ、今後の組織体制や事業遂行方法などについて検討を重ねて、部名称の変更や委員会の新設、理事の役割と部署との連携事項について改変を行った。

## (5) ブロック活動部

事業方針にもとづき、ブロック活動部は次の事業を行った。

### ■岩国市・和木町ブロック

- ブロック選出理事：高木裕美
- ブロック長：山根茂樹
- 副ブロック長：茅原史貴

#### 【重点目標】

- 社会的ニーズ又は地域課題に即したブロック研修を計画する。
- 研修を通して会員の資質向上と地域活動の活性化に繋げる。
- 会員及び福祉従事者等と親睦を図り、圏域のネットワーク強化を図る。

事業計画	事業報告
<p><b>【ブロック独自事業】</b></p> <p><b>1 定例会</b></p> <p>月の担当者を割り当て、活動内容については、その担当者に委ねる。内容については多種多様に開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・偶数月の第3金曜日開催予定</li><li>・会場 岩国市福祉会館 時間 19時～21時</li><li>・または、Zoomによるオンライン開催</li></ul>	<p><b>1 定例会の開催</b></p> <p>(1) 1回目</p> <p>【開催日】6/21【会場】岩国市福祉会館3階小ホール【内容・講師】障がいのある方への「合理的配慮」を考える、講師：大越美緒【参加人数】24名（内、会員12名）</p> <p>(2) 2回目</p> <p>【開催日】8/23【会場】愛宕スポーツコンプレックスカルチャーセンター2階多目的室【内容・講師】遊びと育ちのインクルーシブ架け橋会の活動を知ろう！講師：橋本尚理【参加人数】18名（内、会員9名）</p> <p>(3) 3回目</p> <p>【開催日】10/18【会場】岩国市福祉会館【内容・講師】「地域共生社会におけるアウトリーチ支援」～現場からの実践報告を中心に～①「山間部での居場所がそこにある意味と多職種が混ざり合う活動、そして保険外の訪問支援活動について（周南市鹿野地区）」講師：岡崎麻衣氏（ギャップ・フィーリング（株）・やまのナース）②「元気な島づくり事業～柱島・端島・黒島の保健活動について」講師：ベンタマ恭子氏（岩国市高齢者支援課・保健師）③「海を行く離島の買い物支援」講師：岩田健吾氏（岩田屋・コンビニオーナー）【参加人数】26名（内、会員6名）</p> <p>(4) 4回目</p> <p>【開催日】11/30【会場】岩国市社会福祉会館【内容・講師】「ヤングケアラーが抱える葛藤」講師：高岡里衣氏【参加人数】54名（内、会員8名）</p> <p>(5) 5回目</p> <p>【開催日】1/11【会場】岩国市社会福祉会館【内容・講師】「ヤングケアラー支援の実際とそこから見える支援に必要なコト・モノ・ヒト」講師：岩金俊充氏【参加人数】21名（内、会員6名）</p> <p>(6) 6回目</p> <p>【開催日】2/22【会場】愛宕コンプレックスカルチャーセンター【内容】「事例を通してヤングケアラーの支援について</p>

	て具体的に考えてみよう！」【参加人数】17名（内、会員3名）
2 情報提供・情報共有	1 メーリングリストを通じて研修や交流会の案内に限らず、各々の相談や意見交換が出来るツールとして活用した。
3 仲間と絆を深めよう会（年2回 8月と12月）	未実施
【全ブロック共通事業の詳細】 1 行政や関係機関などとの連携	1 行政や関係機関など各種委員等へ会員を推薦した。 令和6年度岩国市地域包括ケア推進協議会（山根茂樹）、岩国市地域密着型サービス運営委員会委員及び岩国市地域包括支援センター運営協議会（山本孝博）、岩国市障害程度区分判定審査会委員（瀧山貴士、山本孝博、今田毅）
2 会員数の増加 新規会員数 5名を目指し、入会促進を図る。	5名
【ブロック持ち回り事業】 1 ソーシャルワーカーデーin やまぐち	1 ソーシャルワーカーデーイベントの共催 【開催日】7/17（海の日）【会場】周南市学び・交流プラザ・1階多目的ホール【担当者】本会の担当は東部ブロック（岩国市・和木町ブロック、柳井市・周防大島町・田布施町・平生町・上閑町ブロック、周南市・光市・下松市ブロック）と山口県精神保健福祉士協会、山口県医療ソーシャルワーカー協会の県内ソーシャルワーカー団体【内容】〈講演〉「ソーシャルワーカーについて」（講師：小林武生（周南公立大学/人間健康科学部福祉学科）<福祉に触れるワークショップ♪職場のワーカーが語る！お仕事紹介ブース>高齢・病院・社会福祉協議会・行政・地域福祉・司法・独立型社会福祉士・児童<販売ブース>出展事業者：特定非営利法人キセキものゆにば、社会福祉法人大和福祉会 夢ワークあけぼの、社会福祉法人光葉会しらかば園、genkitchen、工房エリー【参加者数】108名内訳）学生：24名、社会人：84名
■総括	本年度も研修会を軸に活動をすすめきました。集合研修となってからは他職種の参加が大幅に増え、徐々にではありますが、当会の活動を認知していただけるようになってきました。一方で、会員自身の活動参加は広がっておらず、社会福祉士としての研鑽活動やスキルアップが実感できるような取り組みという点では不十分さを残したため、次年度以降力を入れていきたいと考えています。

■柳井市・周防大島町・田布施町・平生町・上関町ブロック

○ブロック選出理事：秋田将利

○ブロック長：中村あゆみ

【重点目標】	
事業計画	事業報告
【ブロック独自事業】 1 定例会（ブロック研修会・会議） 「しゃべり BAR in サザンセト」 隔月（偶数月）の第2金曜 19時～ 【内容】・「ブロック活動計画」に基づいたテーマでの研修開催 ・ソーシャルワーカーとしての悩み相談、事例検討 ・必要に応じブロック会議での協議 ・他の職能団体や関係機関等との連携	<p><b>1 定例会（ブロック研修会・会議）の開催</b></p> <p>(1) 1回目 【開催日】6/24（金）19:00～20:30【会場】柳井市文化福祉会館2階視聴覚室【内容・講師】「8050問題part2」 講師：富田智子（上関町地域包括支援センター）【参加人数】10名（内、会員10名）</p> <p>(2) 2回目 【開催日】8/9（金）19:00～20:30【会場】柳井市文化福祉会館2階視聴覚室【内容・講師】「EAP 従業員支援プログラムについて」講師：篠田光臨（公認心理師/臨床心理士/キャリアコンサルタント）【参加人数】10名（内、会員10名）</p> <p>(3) 3回目 【開催日】10/11（金）19:00～20:30【会場】柳井市文化福祉会館2階視聴覚室【内容・講師】「未来の自分をデザインしよう～なりたい自分を描く～」講師：上野和穂（コーチ・オンライン代表/社会福祉士/公認心理師） 【参加人数】8名（内、会員7名）</p> <p>(4) 4回目 【開催日】12/13（金）19:00～20:30【会場】柳井市文化福祉会館2階視聴覚室【内容・講師】「生活保護制度について」講師：白井智寛（周南市・下松市・光市ブロック）【参加人数】6名（内、会員6名）</p> <p>(5) 5回目 【開催日】2/14（金）19:00～20:30【会場】柳井市文化福祉会館2階視聴覚室【内容】「令和7年度ブロック研修計画について」【参加人数】8名（内、会員8名）</p>
2 情報提供・情報共有	<p>1 本会HPやSNS等を活用した連絡体制を構築し、ブロック研修会や会議等の周知を図った。</p> <p>2 本会未加入者への入会の呼びかけを行った。</p>
2 3関係機関・団体との連携協力 関係機関・団体の協議会等に会員の推薦・派遣を行う。	<p>1 行政や関係機関などの各種委員会や会議などに会員を推薦した。</p> <p>柳井市障害者自立支援認定審査会（平本康喜）</p>
【全ブロック共通事業の詳細】 1 新入会員歓迎会＆会員交流会	未実施

2 会員数の増加 新規会員数3名を目指し、入会促進を図る。	2名
【ブロック持ち回り事業】 1 ソーシャルワーカーデーin やまぐち	1 ソーシャルワーカーデーイベントの共催 【内容】岩国市・和木町ブロック事業報告を参照
<p>■総括</p> <p>隔月開催の定例会は、会員のニーズに対応したさまざまなテーマで計画的に実施することができた。今年度からはオンライン研修から、コロナ禍前のスタイル集合研修での開催としたが、他ブロックや非会員の方の参加もあり、広く関心を寄せていただいていることを感じた。その点は一定の成果と考えられるが、反対に、集合研修に変更となり参加人数は減少に転じた。情報提供やブロック研修会、会議等の周知が不十分であったことに加え、新入会員歓迎会＆会員交流会が未実施であったことも一因として考えられる。次年度はこれらの反省を踏まえ、積極的に活動を開開することでブロック活動への参加者の増加や新規会員の獲得を目指したい。</p>	

## ■周南市・下松市・光市ブロック

○ブロック選出理事：藤本真樹

○ブロック長：白井智寛

### 【重点目標】

- ブロック活動の活性化
- 多職種・関係団体との連携強化による、重層的支援体制の構築
- 社会福祉士としての専門性の発揮と地域貢献に向けた取り組みの実施

事業計画	事業報告
<b>【ブロック独自事業】</b> 1 ブロック会議・研修会（2か月に1回程度） 時事的課題等をテーマに、ネットワークの形成・資質の向上・困難事例への対応策検討・多職種連携等を目的とした研修会として開催。会員相互の交流の場としても活用できるように務める。	<p><b>1 ブロック会議・研修会の開催</b></p> <p>(1) ブロック会議（オリエンテーションを含む） 【開催日】6/15（土）19時から 【形式】オンライン【参加者人数】8名</p> <p>(2) ミニ研修会（事業所見学） 【開催日】8/17（土）16時から 【場所】就労継続支援B型事業所メタゲーム下松 【参加者人数】9名</p> <p>(3) ブロック会議(お仕事紹介シリーズ『行政分野の社会福祉士～生活保護制度を中心に～』&amp;座談会) 【開催日】12/21（土）16時から 【場所】ギャップフィーリング株式会社 支社（周南市毛利町）【参加者人数】8名</p>
2 情報提供・情報共有	ブロック活動等の情報提供を随時実施 11月末現在：登録者数 33名
3 社会福祉士としての専門性の発揮	成年後見制度利用促進に向け、社会福祉士としての専門性を生かし、市民向けに相談会の開催は未実施
4 他団体との合同研修会 他団体と連携協力して研修会を企画開催する。	<p><b>1 研修会を開催した</b></p> <p>(1) 犯罪被害者等支援ツナガル研修会 【開催日】9/15（日）10時から 【会場】周南市シビック交流センター交流室①</p>
<b>【全ブロック共通事業の詳細】</b> 1 新入会員歓迎会＆会員交流会	<p><b>1 新入会員歓迎会&amp;会員交流会</b> 【開催日】8/17（土）【会場】【参加者人数】7名</p> <p><b>2 忘年会</b> 【開催日】12/21（土）【会場】周南市【参加人数】8名</p>
2 会員数の増加 規会員数10名を目指し、入会促進を図る。	4名
3 関係機関・団体との連携協力 関係機関・団体の協議会等に会員の推薦・派遣を行う。	<p><b>1. 行政や関係機関などの各種委員会や会議などに会員を推薦した。</b> 周南市地域包括支援センター運営協議会及び周南市地域密着型サービス運営委員会（藤田和博）下松市介護認定審査会委員（望月英美恵）</p>
<b>【ブロック持ち回り事業】</b> 1 ソーシャルワーカーデーin や	<p><b>1 ソーシャルワーカーデーイベントの共催</b> 【内容】岩国市・和木町ブロック事業報告を参照</p>

まぐち	
【公益事業部協働事業】 1 キャリア教育推進委員会 新社会福祉士・社会福祉士会の PR 活動の一環として、社会福祉士養成校の周南公立大学での実践報告の開催に向け協力要請を行う。	1 社会福祉士会の PR 活動の調整 周南公立大学と調整して、来年度より実施予定となった。
■総括	今年度は新規入会者を対象とした活動を実施することができた。しかし、研修におけるブロック活動の活性化や会員相互の繋がりの強化には至らなかった。ブロック活動への参加者の顔ぶれが同じメンバーに留まっていることも課題の 1 つであり、今年度の反省点を生かして、次年度は魅力あるブロック活動を展開していくことで、専門職としての地域貢献の実現やブロック活動への参加者の増加、さらには新規会員の獲得を目指す。

## ■山口市・美祢市ブロック

- ブロック選出理事：尾中未来
- ブロック長：須原志保
- 副ブロック長：大枝康祐

### 【重点目標】

- 研修参加を通して会員としての意識を高める。
- 会員同士のネットワークを作り、顔の見える関係づくりを目指す。
- 他職能団体や関係機関との連携を強化する。

事業計画	事業報告
<p><b>【ブロック独自事業】</b></p> <p>1 研修会</p> <p>会員のスキルアップや連携強化につながるような研修を以下の予定で実施する。</p> <p>① 05月 ブロック会議（座談会、研修希望）</p> <p>② 07月 ブロック研修（お仕事紹介）</p> <p>③ 09月 ブロック研修（講師）</p> <p>④ 10月 ブロック会議（来年度計画）</p> <p>⑤ 11月 ブロック研修（お仕事紹介）</p> <p>⑥ 01月 ブロック研修（講師）</p>	<p><b>1 ブロック会議を開催した。</b></p> <p>(1) ブロック会議</p> <p>【開催日】5/9 【形式】ハイフレックス（会場：山口市中央地域包括支援センター）【内容】今年度の活動計画&amp;座談会</p> <p>【参加者数】12名</p> <p>(2) ブロック会議</p> <p>【開催日】10/24 【形式】ハイフレックス（会場：山口市中央地域包括支援センター）【内容】会のオリエンテーション、ボランティア活動内規案検討、研修及び新年会の立案</p> <p>【参加者数】5名</p> <p><b>2 研修会を開催した。</b></p> <p>(1) 1回目：ブロック研修</p> <p>【開催日】7/25 【形式】オンライン【内容】母子生活支援施設の機能及びアフターケアを含む地域活動について（母子生活支援施設沙羅の木 施設長岩城克枝氏）【参加者数】16名（内、会員16名）</p> <p>(2) 2回目：ブロック研修</p> <p>【開催日】9/25 【形式】ハイフレックス（会場：山口市中央地域包括支援センター）【内容】会員のお仕事紹介PART8（山口市役所総務部収納課 島村涉氏、更生保護管理官坂本歩氏）【参加者数】13名（内、会員10名）</p> <p>(3) 3回目：宇部市ブロックとの合同研修</p> <p>【開催日】11/27 【形式】オンライン【内容】宇部夜間中学2年目のとりくみ（講師：宇部夜間中学代表 中村文健氏、進行：東亜大学 渡邊靖志氏）【参加者数】11名（内、宇部市ブロック5名、防府市ブロック1名、当ブロック5名）</p> <p>(4) 4回目：ブロック研修</p> <p>【開催日】2/20 【形式】ハイフレックス（会場：山口市中央地域包括支援センター）【内容】会員のお仕事紹介PART9（済生会山口総合病院医療社会事業室 MSW 野崎希美氏、合同MNふくしサポーと相談支援センター・ポップライフ主任相談支援専門員 森尾憲嗣氏）【参加者数】10名（内、会員10名）</p>

2 社会貢献活動部 新 適宜有志を募りボランティア 活動を実施	1 防府市ブロック合同で民家の草刈りを実施した。 【開催日】7/13 【内容】山口市会員が支援していたクライエント（故人）宅の草刈り 【参加者数】10名（山口市美祢市4名、防府市6名） 【内規作成】安定的、継続的運営ができるよう内規を作成した。
3 情報提供・情報共有	研修情報などLINEで適宜情報共有を図った。 現在登録者58名
【全ブロック共通事業の詳細】 1 新入会員歓迎会＆会員交流会 7月～8月頃に、新規会員を歓迎するとともに会員間の交流を深める機会として開催する。	1 新入会員歓迎会＆会員交流会を行った。 (1) 1回目 【開催日】7/20 【場所】grill & café NICK HOUSE 新山口 【参加人数】14名（内、他ブロック会員1名） (2) 2回目 【開催日】1/18 【場所】東天閣（山口市大市町3-6）【参加人数】13名（内、新入会員2名、他ブロック会員1名、賛助会員1名）
2 関係機関・団体との連携協力 関係機関・団体の協議会等に会員の推薦・派遣を行う。	1 行政や関係機関などの各種委員会や会議などに会員を推薦した。 山口市高齢者虐待防止ネットワーク推進会議（須原志保）、山口市人権施策推進審議会（須原志保）山口市介護認定審査会（橘康彦、須原志保、藤井哲治、中尾あゆみ、森尾憲嗣、都野尚子、石黒弘美、島田阿紀）山口市すこやか長寿対策審議会（上野綾乃）  2 関係機関等への講師紹介 関係機関等からの講師派遣依頼に対し、会員を紹介した。 要約筆記者養成講座（中野知美、本廣倫枝）
3 会員数の増加 新規会員数10名を目指し、入会促進を図る。	11名
【公益事業部協働事業】 1 キャリア教育推進委員会 (1) 社会福祉士全国統一模擬試験のスタッフ（試験官）にブロック会員を派遣する。 (2) 社会福祉士・社会福祉士会のPR活動の一環として、社会福祉士養成校の山口県立大学での実践報告者に、ブロック会員を派遣する。	1 キャリア教育推進委員会 (1) 社会福祉士全国統一模擬試験のスタッフ（試験官）にブロック会員を派遣した。 【実施日】10/6（土）【派遣会員】大枝康祐、都野尚子、中尾あゆみ、森尾憲嗣 (2) 社会福祉士・社会福祉士会のPR活動の一環として、社会福祉士養成校の山口県立大学での実践報告者に、ブロック会員を派遣した。 【実施日】10/9（水）【派遣会員】神田陽子（宇部ブロック）、徳田友美
■総括	計画どおり会議と研修、懇親会、オリエンテーション、ボランティア活動を実施できた。今

年度懇親会は2回計画し新入会員への働きかけを意識してとりくむことで一定の成果があった。今後も引きつづき働きかけをおこなうと同時に他ブロック会員で山口市美祢市に職場のある会員とも交流を図っていけたらと考える。顔の見える関係を作りと互いに相談、研鑽しあえるブロックを目指し引き続き活動を進めていきたい。

## ■防府市ブロック

○ブロック選出理事：越智尚史

○ブロック長：瀧口コヅエ

### 【重点目標】

- 未加入者を勧誘して新しい会員を増やす。
- 「多職種」「他職種」と連携が図れるような仕組みや顔の見える関係性を作る。合同研修を企画する。
- 現地参集とズームの双方の利点を活かして参加しやすい研修を企画する。

事業計画	事業報告
【ブロック独自事業】 1 勉強会及び情報交換会（4か月に1回程度）	未実施
2 他団体との合同研修会 防府薬剤師会等と合同で年3回程度研修会を企画開催する。	未実施
3 情報提供・情報共有	<b>1 情報提供・情報共有</b> メーリングリストを活用し、会員相互の連携や親睦が図った。
4 親睦会（顔の見える関係作り）	未実施
【全ブロック共通事業の詳細】 1 会員数の増加 新規会員数2名を目指し、入会促進を図る。	5名

### ■総括

新入会員の増えたのが好材料であった。

研修会等の企画ができておらず、会員の皆さんにはご迷惑をおかけしている。懇親会も含めて今後は企画できるようにしたい。

## ■宇部市ブロック

○ブロック選出理事：神田陽子

○ブロック長：安光洋平

### 【重点目標】

- 会員間の相互のつながりの強化
- 会員数の増加
- 会員が参加したいと思える研修の開催

事業計画	事業報告
<b>【ブロック独自事業】</b> 1 勉強会 ・テーマ：未定 ・日時：9月 ・場所：集合	1 勉強会を開催した。 (1) 1回目：ブロック会議 【開催日】7/13 【形式】宇部市多世代ふれあいセンター 【内容】オリエンテーション 【参加者数】13名 (2) 2回目：成年後見制度について 【開催日】9/10 【形式】宇部市多世代ふれあいセンター 【内容】成年後見制度について (安光洋平氏) 【参加者数】10名
<b>【全ブロック共通事業の詳細】</b> 1 新入会員歓迎会＆会員交流会、会活動のオリエンテーション	1 懇親会を開催した。 【開催日】7/13 参加者9名
2 会員数の増加 新規会員数 3名を目指し、入会促進を図る。	5名
3 関係機関・団体との連携協力 関係機関・団体の協議会等に会員の推薦・派遣を行う。	1. 行政や関係機関などの各種委員会や会議などに会員を推薦した。 宇部市障害者自立支援審査会 (宮下紀子、池本恭子、森藤一哉、山下亜弥人)、宇部市介護認定審査会 (安光あゆみ、判野千聖、原田和夫、末廣洋子、藤井ありさ、安光洋平、池本恭子、井上博子、小田綾子、神田陽子、宮下紀子、内田充範、森藤悦子、蒲智美)
<b>■総括</b> 年2回研修を行い、新入会員の参加もあった。今後も会員のネットワーク構築ができるように研修や交流会の開催を行いたい。	

## ■山陽小野田市ブロック

○ブロック選出理事：山高正義

○ブロック長名：若松勇輔

### 【重点目標】

- ブロック会員のネットワークづくり
- ブロック会員による他機関とのつながりを強化
- 社会福祉士として活躍場を広げるためのスキルアップ研修会の実施

事業計画	事業報告
<p>【ブロック独自事業】</p> <p>1 研修会</p> <p>年に4回程度の情報交換会や研修会を開催。</p>	<p>1. 研修会を開催した。</p> <p>(1) 1回目：定例会</p> <p>【開催日】7/9 【形式】Aスクエア会議室5 【内容】猫の保護活動について 【参加者数】11名</p> <p>(2) 2回目：定例会</p> <p>【開催日】9/7 【形式】Aスクエア会議室5 【内容】情報交換会 【参加者数】10名</p> <p>(3) 3回目：定例会</p> <p>【開催日】11/30 【形式】Aスクエア会議室5 【内容】身寄りのない方の支援について 講師：社会福祉士 池本恭子 【参加者数】8名</p>
<p>2 会員同士の連携強化</p> <p>会員間の交流を深め、ブロックの活性化へと繋げる。</p>	<p>1 歓迎会及び懇親会を開催した。</p> <p>(1) 歓迎会</p> <p>【開催日】7/9 【参加者数】7名</p> <p>(2) 忘年会</p> <p>【開催日】11/30 【参加者数】9名</p>
<p>3 情報提供・情報共有</p>	<p>1 オープンチャットを開設した</p> <p>加入者15名</p>
<p>【全ブロック共通事業の詳細】</p> <p>1 新入会員歓迎会＆会員交流会</p>	<p>1 歓迎会を開催した。</p> <p>(1) 歓迎会</p> <p>【開催日】7/9 【参加者数】7名 (内、新規会員0名)</p>
<p>2 会員数の増加</p> <p>新規会員数3名を目指し、入会促進を図る。</p>	<p>3名</p>
<p>■総括</p> <p>・会員の皆様のご協力により定例会を年3回開催し会員同士の交流を図ることができた。また、オープンチャット加入者数も微増しており、定例会に参加できない会員との交流のきっかけになっている。</p>	

## ■萩市・長門市・阿武町ブロック

- ブロック選出理事：中村幸一郎
- ブロック長名：松尾考真
- 副ブロック長名：松田友也

### 【重点目標】

- 新規入会の促進、会活動の活性化。
- 研修会や親睦会の開催により、会員同士・関係機関とのネットワーク強化。
- メーリングリスト等を活用し、会の情報を発信していく。

事業計画	事業報告
【ブロック独自事業】 1 情報提供・情報共有	<p>1 萩市・長門市・阿武町ブロックのグループ LINE メンバーが増えた。 R7.3.31 現在 17 名登録</p>
2 研修会（年2回） 委員会活動についての研修会や多職種が関心をもてる研修会を検討し開催する。 ・前期（4～9月）外部講師による研修会開催 ・後期（10～3月）外部講師による研修会開催	<p>1 オリエンテーションを開催した。 【開催日】6/12 【場所】オンライン 【参加者】9名</p> <p>2 研修会の開催</p> <p>(1) 1回目 【テーマ】山口県災害派遣福祉チーム員による活動報告 【開催日】9/12（木）18:30～20:00 【講師】大西勇祐（障害者支援施設あけぼの園/主任生活支援員）【場所】オンライン 【参加者数】8名（内、会員8名）</p> <p>(2) 2回目 【テーマ】子どもアドボカシーに関する研修（子どもアドボカシーとは？子どもアドボケイト等について学ぶ） 【講師】杉山美羽氏（山口県社会福祉士会/子ども権利擁護推進委員会/担当理事）【開催日】2/19（水）18時30分から20時00分 【形式】オンライン 【参加者数】10名（内、会員10名）</p>
3 会員同士の親睦を深める 年1回（12月：長門市内）、懇親会を開催する。	<p>1 懇親会を開催した。</p> <p>(1) 1回目 【開催日】7/27 【場所】「さつき」長門市東深川 【参加人数】8名</p> <p>(2) 2回目 【開催日】3/29 【場所】「ふるさと家族」萩市土原 【参加人数】5名</p>
【全ブロック共通事業の詳細】 1 新入会員歓迎会＆会員交流会	<p>1 新入会員歓迎会＆会員交流会 上記のとおり実施した。</p>
2 関係機関・団体との連携協力 関係機関・団体の協議会等に会員の推薦・派遣を行う。	<p>1 行政や関係機関などの各種委員会や会議などに会員を推薦した。 長門市自殺対策推進協議会（上田誠）、長門市障害者支援区分認定審査会（谷井美佐子）長門市障害者保健福祉推進会議委員（山田妙子）長門市地域ケア代表者会議委員（山</p>

	田妙子)
3 会員数の増加 新規会員数5名を目指し、入会促進 を図る。	3名
【公益事業部協働事業】 1 キャリア教育推進委員会 社会福祉士・社会福祉士会の PR 活動の一環として、社会福祉士養成校の至誠館大学での実践報告者に、ブロック会員を派遣する。	<b>1 キャリア教育推進委員会</b> 社会福祉士・社会福祉士会の PR 活動の一環として、社会福祉士養成校の至誠館大学での実践報告者に、ブロック会員を派遣した。 【実施日】12/3（火）12：45～14：15 【実践報告者】上田誠、時田明人
<b>■総括</b>	
<p>事業計画どおり、オリエンテーションや年2回の研修を行うことができた。また、新型コロナ感染症の拡大で開催できていなかった親睦会を数年ぶりに開催することができ、研修に参加する顔ぶれも増えた。</p> <p>目標としていた新規会員数5名増やすことはできなかったが、より多くのブロック会員等が関心を持つような研修等を企画し、会員同士・関係機関とのネットワーク強化に努めたい。</p>	

## ■下関市ブロック

- ブロック選出理事：佐藤義浩
- ブロック長名：道中朋子
- 副ブロック長名：宅野浩未

【重点目標】「龍の登り滝」のような年に。

- 複雑且つ多様な社会環境の変化にともない、変化する福祉課題について把握していく。
- 勉強会等を通じて、関係機関・団体等と交流をはかり、地域のネットワークの環境整備をする。
- 定例勉強会、福祉啓蒙活動等を通じて、会員同士のつながりを図る。また、新規加入者の掘り起しをする。
- 県事務局のホームページを活用して、各活動の案内等の周知を図る。

事業計画	事業報告
<b>【ブロック独自事業】</b> 1 研修会 年3回の研修会の実施	1 研修会を開催した。 (1) 1回目 【開催日】6/4 【内容】会活動のオリエンテーション 【形式】オンライン 【参加人数】7名 (2) 2回目 【開催日】11/9 【内容】専修寺の福祉系住職から学ぶ 【会場】下関市豊北町田耕 5120 専修寺 【参加人数】4名 ★その後のお茶会★ スターバックスコーヒーワン下関一の宮町店にて、3名参加
2 施設見学会＆お茶会 年1回の施設見学の実施予定。 施設見学後、会員交流としてお茶会を予定。	1 施設見学会を開催。 【開催日】9/7 【内容】①認定NPO法人「皆繫」の活動について②「包摂的地域交流拠点 堀田家(あかだけ)」見学 【会場】下関市新堀田南町 1-11-11 ICS 堀田家 【参加人数】8名
3 地域活動への参加 社会福祉士の認知度をあげるために、「馬関祭り愛の広場」への参加予定	1 「馬関祭り愛の広場」への参加 【開催日】8/24(土) 【内容】馬関まつり「愛の広場」への参加 【参加人数】10名
4 他団体との連携 他職能団体との研修の実施予定。	1 「ケアマネ協会下関支部」「介護福祉士会下関ブロック」と合同研修開催に向けて第一回打合せ 【開催日】10/4 【内容】自己紹介、各団体紹介 【会場】特別養護老人ホーム貴船園 2 「介護福祉士会下関ブロック」様と綾羅木海岸清掃活動参加 【開催日】11/17 【内容】地元自治会主催の綾羅木海岸清掃活動に参加
<b>【全ブロック共通事業の詳細】</b> 1 新入会員歓迎会＆会員交流会	1 忘年会開催 【開催日】11/22 【会場】ビストロ Hana 【参加人数】7名 新入会員歓迎会も含めて開催。

2 会員数の増加 新規会員数 5 名を目指す。	7 名
3 関係機関・団体との連携協力 関係機関・団体の協議会等に会員の推薦・派遣を行う。	<p>1. 行政や関係機関などの各種委員会や会議などに会員を推薦した。</p> <p>下関市介護認定審査会（頃未能宏、道中朋子、林直人、佐藤正昭、上野純子）、下関市障害者自立支援審査会（石津育行、宅野浩未、花貫一博）</p>

### ■総括

会員のみなさまのおかげをもちまして、まさに「登り龍のような一年」になりました。研修では、ZOOM 研修だけではなく、対面研修を再開しました。そこで、対面ならではの意見交換や、これまで研修場所として使用したことがない場所で実施することができました。新しい会員さんやはじめましての会員さんも受講していただけたのは大きく、喜ばしいことです。

また、これまで行うことができなかった「他団体との連携」は、来年度も継続的に実施することができそうです。

今年度は、新たなつながりができ、活動の幅もひろがった一年でした。

一般社団法人山口県社会福祉士会

第32回定時社員総会

第2号議案  
2024年度決算報告

## 一般社団法人山口県社会福祉士会

## 貸借対照表

2025年3月31日現在

5

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	46,661,139	41,328,380	5,332,759
未収会費	1,029,990	945,496	84,494
未収金	12,776,833	12,930,206	△ 153,373
立替金	61,705	0	61,705
流動資産合計	60,529,667	55,204,082	5,325,585
資産合計	60,529,667	55,204,082	5,325,585
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	1,287,773	1,248,735	39,038
預り金	131,820	227,483	△ 95,663
流動負債合計	1,419,593	1,476,218	△ 56,625
負債合計	1,419,593	1,476,218	△ 56,625
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
負担金	△ 127,769	△ 297,893	170,124
指定正味財産合計	1,675,933	1,803,702	△ 127,769
2. 一般正味財産			
正味財産合計	57,434,141	51,924,162	5,509,979
負債及び正味財産合計	59,110,074	53,727,864	5,382,210
	60,529,667	55,204,082	5,325,585

## 一般社団法人山口県社会福祉士会

## 財産目録

2025年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	預金	普通預金		46,661,139
	未収会費			1,029,990
	未収金			12,776,833
	立替金			61,705
流動資産合計				60,529,667
資産合計				60,529,667
(流動負債)				
	未払金			1,287,773
	預り金			131,820
流動負債合計				1,419,593
負債合計				1,419,593
正味財産				59,110,074

**一般社団法人山口県社会福祉士会**  
**正味財産増減計算書**

2024年4月1日から2025年3月31日まで

全会計

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取入会金	215,000	195,000	20,000	
受取入会金	215,000	195,000	20,000	○入会金 5,000円/入会年
受取会費	13,807,990	13,282,950	525,040	
正会員受取会費	11,128,000	10,803,000	325,000	○正会員会費 15,000円/年
賛助会員受取会費	17,000	16,000	1,000	○賛助会員会費1,000円 (個人) 5000円 (法人)
ばあとなあ山口会員受取会費	2,662,990	2,463,950	199,040	○ばあとなあ山口会員会費 3,000円/年 ○ばあとなあ名簿登録料 10,000円/年 ○事業運営負担金 (ばあとなあ専属職員賃金分)
事業収益	2,790,040	2,486,800	303,240	
資格取得支援事業収益	356,400	435,800	△ 79,400	○社会福祉士全国統一模擬試験試験料
地域権利擁護事業収益	74,000	12,500	61,500	○SSW委員会企画研修会受講料
会員活動支援事業収益	7,560	4,500	3,060	○ア'ロ'ック活動参加料
福祉人材育成事業収益	2,352,080	2,034,000	318,080	○基礎研修 I II III受講料 ○実習指導者講習会受講料 ○実習指導者フォローアップ研修会受講料 ○スパー'ビ'ジョンコーデ'ィネ'ト料 ○名簿登録研修受講料
受取補助金等	19,587,083	17,087,343	2,499,740	
受取地方公共団体補助金	604,000	300,000	304,000	○福祉・介護への理解促進事業 ・ソーシャルワーカーデ'ー、社会福祉士PR活動、SSW未来塾
県受託収益	18,708,083	16,512,343	2,195,740	○高齢者権利擁護推進事業 ○障害者権利擁護ワ'ー'運営事業 ○地域包括ケア専門職派遣システム構築事業 ○子どもの権利擁護の相談体制整備事業 ○住宅改修等点検に係る専門職派遣事業 ○市民後見人養成研修支援事業
市町受託収益	275,000	275,000	0	○下関市成年後見制度利用促進支援事業
受取負担金	49,485	68,744	△ 19,259	
受取負担金	20,000	0	20,000	○研修負担金
受取負担金振替額	29,485	68,744	△ 39,259	○寄付金事務の管理経費
受取寄付金	98,284	229,149	△ 130,865	
受取寄付金振替額	98,284	229,149	△ 130,865	○寄付金事業経費
雑収益	126,157	111,456	14,701	
受取利息	25,509	410	25,099	○預貯金口座受取利息
雑収益	1,670	0	1,670	
会員管理手数料	98,978	111,046	△ 12,068	○会費等回収手数料
<b>経常収益計</b>	<b>36,674,039</b>	<b>33,461,442</b>	<b>3,212,597</b>	

科目	当年度	前年度	増減	備考
(2) 経常費用				
事業費	29,369,026	26,032,660	3,336,366	【事業内容】 ■委託事業部 ○障害者権利擁護センター委員会 ・障害者権利擁護センター運営事業 ○高齢者権利擁護推進委員会 ・高齢者権利擁護推進事業 ・地域包括専門職派遣システム構築事業 ・住宅改修等点検に係る専門職派遣事業 ○子ども権利擁護推進委員会 ・子どもの権利擁護のための相談体制事業 ○下関市成年後見制度利用促進支援事業 ○市民後見人陽性研修支援事業
給料手当	6,775,257	6,620,952	154,305	
臨時雇賃金	4,339,920	3,659,612	680,308	
福利厚生費	1,261,283	946,084	315,199	
会議費	972,856	968,149	4,707	
旅費交通費	1,376,075	865,122	510,953	■公益事業部 ○権利擁護センターばあとなあ山口委員会 ・尾崎邦子氏寄付金活用事業
通信運搬費	1,156,889	1,043,710	113,179	○スクールソーシャルワーク委員会 ○キャリア教育推進委員会 ○司法ソーシャルワーク委員会 ○スーパービジョン委員会
消耗品費	215,088	218,648	△ 3,560	■ブロック活動部 ○岩国市・和木町ブロック ○柳井市・周防大島町・田布施町・平生町・上関町 ブロック
印刷製本費	832,358	864,930	△ 32,572	○周南市・下松市・光市ブロック ○山口市・美祢市ブロック ○防府市ブロック ○宇部市ブロック ○山陽小野田市ブロック ○萩市・長門市・阿武町ブロック ○下関市ブロック
賃借料	1,831,163	1,584,333	246,830	■総合企画部 ○企画チーム事業 ・独立型社会福祉士実践報告会&情報交換 災害支援事業 ・広報啓発事業 ・6月総会講演企画チーム ・3月総会講演企画チーム ○e-ラーニング事業 ○生涯研修センター運営事業 ○受講者推薦事業 ○日本社会福祉士会支援事業
保険料	95,240	86,400	8,840	
諸謝金	5,788,605	4,482,817	1,305,788	
租税公課	22,850	23,200	△ 350	
支払負担金	4,621,400	4,637,500	△ 16,100	
雑費	29,095	18,491	10,604	
涉外費	50,947	12,712	38,235	
管理費	1,795,034	1,050,143	744,891	
給料手当	27,857	15,550	12,307	○正規職員給与
臨時雇賃金	575,077	0	575,077	○嘱託職員給与
福利厚生費	199,335	209,852	△ 10,517	○正規臨時職員福利厚生
会議費	41,598	59,006	△ 17,408	○総会
旅費交通費	147,250	66,880	80,370	
通信運搬費	164,503	111,199	53,304	○電話代・郵送代・インターネット
消耗品費	963	0	963	
印刷製本費	1,733	688	1,045	○印刷代
賃借料	170,623	139,668	30,955	○事務局賃借料・会計ソフト・印刷機・オンライン環境
租税公課	71,200	85,430	△ 14,230	○法人税
支払負担金	209,550	208,950	600	○関係団体会費 ○広告協賛金 ○綱紀案件事務委託料
雑費	185,345	152,920	32,425	○会員管理費等
経常費用計	31,164,060	27,082,803	4,081,257	
当期経常増減額	5,509,979	6,378,639	△ 868,660	

2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
<b>経常外収益計</b>	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	5,509,979	6,378,639	△ 868,660	
一般正味財産期首残高	51,924,162	45,545,523	6,378,639	
一般正味財産期末残高	57,434,141	51,924,162	5,509,979	
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
一般正味財産への振替額	△ 127,769	△ 297,893	170,124	
一般正味財産への振替額	△ 127,769	△ 297,893	170,124	・寄付金事業経費 ・寄付金事務的管理経費
当期指定正味財産増減額	△ 127,769	△ 297,893	170,124	
指定正味財産期首残高	1,803,702	2,101,595	△ 297,893	
指定正味財産期末残高	1,675,933	1,803,702	△ 127,769	
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>59,110,074</b>	<b>53,727,864</b>	<b>5,382,210</b>	

正味財産増減計算書内訳表（実施事業会計）

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位：円)

委託事業部							
科目	障害者権利擁護センター運営事業	高齢者権利擁護推進委員会	地域包括ケア専門職派遣システム構築事業	子どもの権利擁護のための相談体制事業	住宅改修等点検に係る専門職派遣事業	市民後見人養成研修支援事業	下関市成年後見制度利用促進支援事業
<b>I 一般正味財産増減の部</b>							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0
受取会費	0	0	0	0	0	0	0
正会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0
ばあとなあ山口会員会費	0	0	0	0	0	0	0
事業収益	0	0	0	0	0	0	0
資格取得支援事業収益	0	0	0	0	0	0	0
地域権利擁護事業収益	0	0	0	0	0	0	0
会員活動支援事業収益	0	0	0	0	0	0	0
福祉人材育成事業収益	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等	6,800,000	998,000	1,150,453	8,400,000	803,630	556,000	275,000
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0
県受託収益	6,800,000	998,000	1,150,453	8,400,000	803,630	556,000	0
市町受託収益	0	0	0	0	0	0	275,000
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金振替額	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0
受取利息	0	0	0	0	0	0	0
会員管理手数料	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	6,800,000	998,000	1,150,453	8,400,000	803,630	556,000	275,000
(2) 経常費用							
事業費	6,800,000	998,000	1,150,453	8,400,000	803,630	556,000	275,000
給料手当	1,491,980	631,900	873,600	1,940,829	788,660	252,000	217,765
臨時雇賃金	2,361,300	0	0	948,620	0	0	0
福利厚生費	248,000	0	0	0	0	0	0
会議費	76,752	44,772	0	86,376	0	0	0
旅費交通費	462,054	15,380	16,320	613,368	1,200	5,920	0
通信運搬費	227,333	50,885	40,490	516,495	1,670	3,640	1,035
消耗品費	51,003	24,883	7,273	57,926	0	39,500	0
印刷製本費	103,300	40,090	9,000	221,430	2,500	8,233	0
賃借料	832,888	21,090	0	397,306	0	6,507	0
保険料	18,940	0	0	0	0	0	0
諸謝金	874,000	169,000	202,770	3,050,000	9,200	240,000	56,000
租税公課	10,000	0	1,000	11,050	400	200	200
支払負担金	0	0	0	556,600	0	0	0
雑費	3,300	0	0	0	0	0	0
涉外費	39,150	0	0	0	0	0	0
経常費用計	6,800,000	998,000	1,150,453	8,400,000	803,630	556,000	275,000
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0

正味財産増減計算書内訳表（実施事業会計）

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位：円)

公益事業部					
科目	権利擁護センター ばあとなあ山口委員会	スクールソーシャルワーク委員会	キャリア教育推進委員会	司法ソーシャルワーク委員会	スーパービジョン委員会
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取入会金	0	0	0	0	0
受取入会金	0	0	0	0	0
受取会費	2,662,990	0	0	0	0
正会員受取会費	0	0	0	0	0
ばあとなあ山口会員受取会費	2,662,990	0	0	0	0
事業収益	0	74,000	1,134,400	0	0
資格取得支援事業収益	0	0	356,400	0	0
地域権利擁護事業収益	0	74,000	0	0	0
会員活動支援事業収益	0	0	0	0	0
福祉人材育成事業収益	0	0	778,000	0	0
受取補助金等	0	0	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0
県受託収益	0	0	0	0	0
市町受託収益	0	0	0	0	0
受取負担金	0	20,000	0	0	0
受取負担金	0	20,000	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0
受取負担金振替額	0	0	0	0	0
雑収益	12,826	0	0	0	0
受取利息	0	0	0	0	0
会員管理手数料	12,826	0	0	0	0
経常収益計	2,675,816	94,000	1,134,400	0	0
(2) 経常費用					
事業費	2,763,718	105,218	888,092	127,688	87,026
給料手当	454,876	5,969	17,629	5,113	4,258
臨時雇賃金	1,030,000	0	0	0	0
福利厚生費	281,126	35,347	104,390	30,280	25,214
会議費	408,244	0	12,000	25,584	44,772
旅費交通費	65,320	11,383	70,440	9,620	0
通信運搬費	129,400	2,531	27,841	5,259	1,266
消耗品費	1,641	206	609	176	147
印刷製本費	2,953	371	361,898	318	264
賃借料	133,099	29,411	96,785	13,338	11,105
保険料	76,300	0	0	0	0
諸謝金	30,000	20,000	188,000	8,000	0
租税公課	0	0	0	0	0
支払負担金	131,300	0	0	30,000	0
雑費	19,459	0	0	0	0
涉外費	0	0	8,500	0	0
経常費用計	2,763,718	105,218	888,092	127,688	87,026
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 87,902	△ 11,218	246,308	△ 127,688	△ 87,026
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 87,902	△ 11,218	246,308	△ 127,688	△ 87,026
当期一般正味財産増減額	△ 87,902	△ 11,218	246,308	△ 127,688	△ 87,026

正味財産増減計算書内訳表（実施事業会計）

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位：円)

科目	ブロック活動部		総合企画部			
	ブロック支援事業	ソーシャルワーカーデー SSW未来塾、社会福祉士PR活動（福祉・介護への理解促進事業）	独立型社会福祉士実践報告会&情報交換会	生涯研修センター運営事業	e-ラーニング事業	災害活動支援
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
受取入会金	0	0	0	0	0	0
受取入会金	0	0	0	0	0	0
受取会費	0	0	0	0	0	0
正会員受取会費	0	0	0	0	0	0
ばあとなあ山口会員会費	0	0	0	0	0	0
事業収益	7,560	0	0	1,514,080	0	0
資格取得支援事業収益	0	0	0	0	0	0
地域権利擁護事業収益	0	0	0	0	0	0
会員活動支援事業収益	7,560	0	0	0	0	0
福祉人材育成事業収益	0	0	0	1,514,080	0	0
受取補助金等	0	604,000	0	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	604,000	0	0	0	0
県受託収益	0	0	0	0	0	0
市町受託収益	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0
受取負担金振替額	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0
受取利息	0	0	0	0	0	0
会員管理手数料	0	0	0	0	0	0
経常収益計	7,560	604,000	0	1,514,080	0	0
(2) 経常費用						
事業費	386,383	604,520	49,483	1,032,459	165,550	11,163
給料手当	18,763	0	2,566	48,899	0	1,134
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	111,107	0	15,199	289,502	0	6,715
会議費	108,000	96,000	19,188	0	0	0
旅費交通費	5,030	37,440	640	9,120	0	0
通信運搬費	10,529	112,538	949	14,155	550	248
消耗品費	648	28,586	88	1,699	0	39
印刷製本費	1,167	40,490	159	36,016	0	70
賃借料	66,207	23,130	6,694	127,568	0	2,957
保険料	0	0	0	0	0	0
諸謝金	58,135	260,000	4,000	505,500	0	0
租税公課	0	0	0	0	0	0
支払負担金	3,500	0	0	0	165,000	0
雑費	0	6,336	0	0	0	0
涉外費	3,297	0	0	0	0	0
経常費用計	386,383	604,520	49,483	1,032,459	165,550	11,163
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 378,823	△ 520	△ 49,483	481,621	△ 165,550	△ 11,163
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 378,823	△ 520	△ 49,483	481,621	△ 165,550	△ 11,163
当期一般正味財産増減額	△ 378,823	△ 520	△ 49,483	481,621	△ 165,550	△ 11,163

正味財産増減計算書内訳表（実施事業会計）

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位：円)

総合企画部						
科目	総合企画部会事業	受講者推薦事業	広報啓発事業	6月講演会	3月講演会	日本社会福祉士会支援事業
<b>I 一般正味財産増減の部</b>						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
受取入会金	0	0	0	0	0	0
受取入会金	0	0	0	0	0	0
受取会費	0	0	0	0	0	0
正会員受取会費	0	0	0	0	0	0
ばあとなあ山口会員会費	0	0	0	0	0	0
事業収益	0	0	0	0	0	0
資格取得支援事業収益	0	0	0	0	0	0
地域権利擁護事業収益	0	0	0	0	0	0
会員活動支援事業収益	0	0	0	0	0	0
福祉人材育成事業収益	0	0	0	0	0	0
受取補助金等	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0
県受託収益	0	0	0	0	0	0
市町受託収益	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0
受取負担金振替額	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0
受取利息	0	0	0	0	0	0
会員管理手数料	0	0	0	0	0	0
経常収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常費用						
事業費	50,349	13,708	19,588	80,972	49,062	3,792,680
給料手当	5,113	1,392	1,989	2,566	2,566	5,690
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	30,280	8,247	11,782	15,199	15,199	33,696
会議費	0	0	0	12,792	12,792	0
旅費交通費	0	0	0	27,360	2,780	0
通信運搬費	1,124	305	437	1,114	784	2,901
消耗品費	176	48	68	88	88	196
印刷製本費	318	86	123	159	159	354
賃借料	13,338	3,630	5,189	6,694	6,694	14,843
保険料	0	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	15,000	8,000	0
租税公課	0	0	0	0	0	0
支払負担金	0	0	0	0	0	3,735,000
雑費	0	0	0	0	0	0
涉外費	0	0	0	0	0	0
経常費用計	50,349	13,708	19,588	80,972	49,062	3,792,680
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 50,349	△ 13,708	△ 19,588	△ 80,972	△ 49,062	△ 3,792,680
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 50,349	△ 13,708	△ 19,588	△ 80,972	△ 49,062	△ 3,792,680
当期一般正味財産増減額	△ 50,349	△ 13,708	△ 19,588	△ 80,972	△ 49,062	△ 3,792,680

## 正味財産増減計算書（会計別）

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

(単位：円)

科目	実施事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	0	215,000	215,000
受取入会金	0	215,000	215,000
受取会費	2,662,990	11,145,000	13,807,990
正会員受取会費	0	11,128,000	11,128,000
賛助会員受取会費	0	17,000	17,000
ばあとなあ山口会員会費	2,662,990	0	2,662,990
SSW会員受取会費	0	0	0
事業収益	2,790,040	0	2,790,040
資格取得支援事業収益	344,000	0	344,000
地域権利擁護事業収益	74,000	0	74,000
会員活動支援事業収益	7,560	0	7,560
福祉人材育成事業収益	2,364,480	0	2,364,480
調査・研究事業収益	0	0	0
受取補助金等	19,587,083	0	19,587,083
受取地方公共団体補助金	604,000	0	604,000
県受託収益	18,708,083	0	18,708,083
市町受託収益	275,000	0	275,000
受取負担金	49,485	0	49,485
受取負担金	20,000	0	20,000
受取負担金振替額	29,485	0	29,485
受取寄付金	98,284	0	98,284
受取寄付金振替額	98,284	0	98,284
雑収益	12,826	113,331	126,157
受取利息	0	25,509	25,509
雑収益	0	1,670	1,670
会員管理手数料	12,826	86,152	98,978
経常収益計	25,200,708	11,473,331	36,674,039
(2) 経常費用			
事業費	29,369,026	0	29,369,026
給料手当	6,775,257	0	6,775,257
臨時雇賃金	4,339,920	0	4,339,920
福利厚生費	1,261,283	0	1,261,283
会議費	972,856	0	0
旅費交通費	1,376,075	0	1,376,075
通信運搬費	1,156,889	0	1,156,889
消耗品費	215,088	0	215,088
印刷製本費	832,358	0	832,358
賃借料	1,831,163	0	1,831,163
保険料	95,240	0	95,240
諸謝金	5,788,605	0	5,788,605
租税公課	22,850	0	22,850
支払負担金	4,621,400	0	4,621,400
雑費	29,095	0	0
涉外費	50,947	0	50,947
管理費	0	1,795,034	1,795,034
給料手当	0	27,857	27,857
臨時雇賃金	0	575,077	575,077
福利厚生費	0	199,335	199,335
会議費	0	41,598	41,598
旅費交通費	0	147,250	147,250
通信運搬費	0	164,503	164,503
消耗品費	0	963	963
印刷製本費	0	1,733	1,733
賃借料	0	170,623	170,623
租税公課	0	71,200	71,200
支払負担金	0	209,550	209,550
雑費	0	185,345	185,345
涉外費	0	0	0
経常費用計	29,369,026	1,795,034	31,164,060
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,168,318	9,678,297	5,509,979
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,168,318	9,678,297	5,509,979
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,168,318	9,678,297	5,509,979
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△ 297,893	0	△ 297,893
一般正味財産への振替額	△ 127,769	0	△ 127,769
当期指定正味財産増減額	△ 127,769	0	△ 127,769
指定正味財産期首残高	1,803,702	0	1,803,702
指定正味財産期末残高	1,675,933	0	1,675,933

# 正味財産増減計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

尾崎邦子氏寄付金事業  
(単位:円)

## 実施事業会計

科 目	当年度	前年度	増 減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	60,000	50,000	10,000	
福祉人材育成事業	60,000	50,000	10,000	・名簿登録研修
受取負担金	29,485	68,744	△ 39,259	
受取負担金振替額	29,485	68,744	△ 39,259	・寄付金事務の管理経費
受取寄付金	98,284	229,149	△ 130,865	
受取寄付金振替額	98,284	229,149	△ 130,865	・寄付金事業経費
雑収入		0	0	
経常収益計	187,769	347,893	△ 160,124	
(2) 経常費用				
事業費	158,284	279,149	△ 120,865	
給料手当		0	0	
臨時雇賃金		0	0	
福利厚生費		0	0	
会議費	25,584	25,584	0	・地域別勉強会
旅費交通費	22,700	11,180	11,520	・地域別勉強会 ・名簿登録研修 ・名簿登録更新研修
通信運搬費	3,410	5,851	△ 2,441	・振込手数料
消耗品費		0	0	
印刷製本費	2,900	3,130	△ 230	
賃借料	12,690	10,404	2,286	・名簿登録更新 ・地域勉強会
保険料		0	0	
諸謝金	91,000	223,000	△ 132,000	・地域別勉強会 ・名簿登録研修 ・名簿登録更新研修
支払負担金	0	0	0	
経常費用計	158,284	279,149	△ 120,865	
評価損益等調整前当期経常増減額	29,485	68,744	△ 39,259	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	29,485	68,744	△ 39,259	
当期一般正味財産増減額	29,485	68,744	△ 39,259	
一般正味財産期首残高	0	0	0	
一般正味財産期末残高	29,485	68,744	△ 39,259	
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	△ 127,769	△ 297,893	170,124	
一般正味財産への振替額	△ 127,769	△ 297,893	170,124	
当期指定正味財産増減額	△ 127,769	△ 297,893	170,124	
指定正味財産期首残高	1,803,702	2,101,595	△ 297,893	
指定正味財産期末残高	1,675,933	1,803,702	△ 127,769	

## 財務諸表の注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

### 2 債権及び債務の明細

債権及び債務の明細は次のとおりである。

科 目	金 額	内 訳
未収会費	1,029,990 円	○事業運営負担金（ばあとなあ山口専属職員賃金分）
未収金	12,776,833 円	○地域包括ケア専門職派遣システム構築事業委託料 1,150,453 円 ○高齢者権利擁護推進事業委託料 998,000 円 ○障害者権利擁護センター運営事業委託料 800,000 円 ○子どもの権利擁護のための相談体制事業委託料 8,400,000 円 ○住宅改修等点検に係る専門職派遣事業委託料 803,630 円 ○下関市成年後見利用促進支援事業委託料 68,750 円 ○市民後見人養成研修支援業務 556,000 円
立替金	61,705 円	○職員の社会保険料
未払金	1,287,773 円	○法人会計（給与、法人税等） 640,353 円 ○事業会計（臨時雇賃金、発送料、謝金等） 647,420 円
預り金	227,483 円	○所得税等の預り金 131,820 円

### 3 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期 末期 残高	当期增加額	当期減少額	当期 末期 残高	貸借対照表上 の記載区分
地域包括ケア専門職派遣システム構築事業	山口県	0	1,150,453	1,357,028	0	一般正味財産
高齢者権利擁護推進事業	山口県	0	998,000	998,000	0	一般正味財産
障害者権利擁護センター運営事業	山口県	0	6,800,000	6,770,000	0	一般正味財産
子どもの権利擁護のための相談体制事業	山口県	0	8,400,000	6,550,000	0	一般正味財産
住宅改修等点検に係る専門職派遣事業	山口県	0	803,630	837,315	0	一般正味財産
福祉・介護への理解促進事業補助金	山口県	0	604,000	604,000	0	一般正味財産
市民後見人養成研修支援事業	山口県	0	556,000	556,000	0	一般正味財産
下関市成年後見制度利用促進支援事業	下関市	0	275,000	275,000	0	一般正味財産

## 監査報告書

一般社団法人山口県社会福祉士会  
会長辻中浩司様

令和7年5月7日  
一般社団法人山口県社会福祉士会

監事 大神尚子   
監事 佐々木啓太 

私たちは、一般社団法人山口県社会福祉士会の令和6年度事業及び財産の状況について、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条及び定款第28条に基づき監査を行い、次のとおり報告する。

### 1 監事の監査の方法及びその内容

- (1) 私たちは、理事会及びその他重要な会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務遂行の妥当性を検討した。
- (2) 私たちは、会計帳簿並びに関係書類など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録）及び附属明細書の正確性を検討した。

### 2 監査意見

- (1) 計算書類及び附属明細書は、法令及び定款に従い、本会の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、本会の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の業務遂行に関する不正の行為及び法令若しくは定款に違反する重大な事実はないとの認める。

以上

一般社団法人山口県社会福祉士会

第32回定時社員総会

第3号議案  
役員の選任

# 一般社団法人山口県社会福祉士会

## 理事候補者の報告

2025年5月19日  
一般社団法人山口県社会福祉士会  
選挙管理委員会 委員長 山本貴茂

理事候補者確定について、以下のとおりご報告いたします。

一般社団法人山口県社会福祉士会「役員選出規則第5号」並びに「役員選出細則第1号」に基づき、2025年6月28日から2027年6月末定時社員総会の終結の時までを任期とする理事立候補を4月7日から4月25日間で受け付けた結果、ブロック選出理事は定数9名に対して9名、県内選出理事は定数7名に対して7名の立候補を受け付けました。

県内選出理事につきましては、立候補者数が定数と同数のため、立候補者7名が候補者として確定いたしました。

ブロック選出理事につきましては、定数と同数の場合でも、賛否を伺い、候補者を確定することとなっており、県内9ブロックごとに、ブロック内に所属する会員による賛否の投票を実施した結果、全ブロックで過半数以上の賛成が得られたので、立候補者9名が候補者として確定いたしました。

ブロック選出理事立候補者（9名）	県内選出理事立候補者（7名）
▶ 高木 裕美：岩国市・和木町ブロック	▶ 辻中 浩司
▶ 橋本 千枝：柳井市・周防大島町・田布施町・平生町・上関町ブロック	▶ 上野 綾乃
▶ 川口 里美：周南市・下松市・光市ブロック	▶ 安光 洋平
▶ 山中 将嗣：山口市・美祢市ブロック	▶ 服部 恭弥
▶ 越智 尚史：防府市ブロック	▶ 橋 康彦
▶ 神田 陽子：宇部市ブロック	▶ 平本 康喜
▶ 植木 亨：山陽小野田市ブロック	▶ 佐々木 啓太
▶ 松尾 考真：萩市・長門市・阿武町ブロック	(順不同)
▶ 佐藤 義浩：下関市ブロック	

# 一般社団法人山口県社会福祉士会

## 監事候補者の報告

監事選出について、以下のとおりご報告いたします。

一般社団法人山口県社会福祉士会定款第 29 条に基づき、監事の任期は選任後 4 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結までと定められております。この規定に従い、2021 年 6 月 26 日に選任された 2 名の監事（大神尚子、佐々木啓太）については、本日開催の総会の終結をもって任期満了となります。

これに伴い、一般社団法人山口県社会福祉士会役員選出規則第 5 号第 5 条第 2 項に基づき、2025 年 5 月 10 日に開催された第 1 回通常理事会において、監事候補者の選出について審議を行いました。

審議の結果、以下の 2 名を監事として選出することが、出席理事全員一致で承認可決されましたので、ご報告申し上げます。

### 【監事】

- 会員番号 5555 尾中 未来
- 会員番号 22177 山高 正義

一般社団法人山口県社会福祉士会

第32回定時社員総会

第1号報告  
ブロック役職者の報告

# 一般社団法人山口県社会福祉士会 ブロック役職者の報告

ブロック役職者（ブロック長や副ブロック長など）確定について、以下のとおりご報告いたします。

一般社団法人山口県社会福祉士会の「ブロックの活動及び運営に関する規程第3号」により、ブロックの役職者は、ブロック選出理事の選出時に合わせて決めることになっています。

この規程に基づき、このたび、ブロック役職者の立候補を受け付けた後、所属ブロックの会員による賛否投票を行いました。

その結果、すべてのブロックで「賛成」が多数、「反対」はゼロとなりましたので、以下のとおり役職者が決定したことをご報告いたします。

## ●岩国市・和木町ブロック

- ・ブロック長： 山根 茂樹
- ・副ブロック長： 爲永 良男

## ●宇部市ブロック

- ・ブロック長： 安光 洋平
- ・副ブロック長： 古富 真  
池本 恭子

## ●柳井市・周防大島町・田布施町・平生町・ 上関町ブロック

- ・ブロック長： 富田 智子

## ●山陽小野田市ブロック

- ・ブロック長： 若松 勇輔
- ・副ブロック長： 野原 庸平

## ●周南市・下松市・光市ブロック

- ・ブロック長： 白井 智寛

## ●萩市・長門市・阿武町ブロック

- ・ブロック長： 山本 顕信
- ・副ブロック長： 上田 誠

## ●山口市・美祢市ブロック

- ・ブロック長： 須原 志保
- ・副ブロック長： 大枝 康祐

## ●下関市ブロック

- ・ブロック長： 道中 朋子
- ・副ブロック長： 宅野 浩未

## ●防府市ブロック

- ・ブロック長： 瀧口 コヅエ
- ・副ブロック長： 西山 由子